



Numerics

2重タグ パケット

- IEEE 802.1Q トンネリング 16-3
- レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-12

A

AAA ダウン ポリシーと NAC レイヤ 2 IP 検証 1-9

ABR 34-27

access-class コマンド 31-21

ACE

- IP 31-2
- QoS 32-7
- イーサネット 31-2
- 定義 31-2

ACL

- ACE 31-2
- any キーワード 31-13
- host キーワード 31-13

IP

- 暗黙の拒否 31-11, 31-16, 31-18
- 一致条件 31-8
- 作成 31-8
- フラグメントおよび QoS に関する注意事項 32-34
- 未定義 31-23
- 無視マスク 31-11

IPv4

- 一致条件 31-8
- インターフェイスへの適用 31-22
- 作成 31-8
- サポートしない機能 31-8
- 端末回線、設定 31-21
- 名前付き 31-16
- 番号 31-9

IPv6

- 一致条件 37-3
- インターフェイスへの適用 37-8
- サポートしない機能 37-3
- 制限事項 37-3
- 設定 37-4, 37-5
- 名前付き 37-3
- 表示 37-9
- 他の機能との相互作用 37-4
- 優先 37-2
- MAC 拡張 31-30, 32-46
- QoS 32-7, 32-44
- QoS クラス マップあたりの個数 32-34
- QoS のトラフィックの分類 32-44
- VLAN マップ
 - 設定 31-33
 - 設定時の注意事項 31-34
- エントリのシーケンスの再編集 31-16
- 拡張 IPv4
 - 一致条件 31-8
 - 作成 31-11
- 拡張 IP、QoS の分類設定 32-44
- コメント 31-20
- コンパイル 31-24
- サポート 1-8
- サポート タイプ 31-2
- サポートしない機能
 - IPv6 37-3
- サポートしない機能、IPv4 31-8
- 時間範囲 31-18
- 照合 31-8, 31-23, 37-3
- 定義 31-2, 31-8
- 適用
 - IPv6 インターフェイス 37-8
 - QoS 32-7
 - インターフェイス 31-22, 37-8
 - 時間範囲 31-18

- スイッチドパケット 31-42
 - ブリッジドパケット 31-43
 - マルチキャストパケット 31-44
 - ルーテッドパケット 31-43
 - 名前 37-4
 - 名前付き
 - IPv6 37-3
 - 名前付き、IPv4 31-16
 - ハードウェアおよびソフトウェアの処理 31-23
 - ハードウェアのサポート 31-23
 - 標準 IPv4
 - 一致条件 31-8
 - 作成 31-10
 - 標準 IP、QoS の分類設定 32-44
 - ポート 31-2, 37-2
 - モニタ 31-45, 37-9
 - 優先 31-3
 - ルータ 31-2, 37-2
 - ルータ ACL と VLAN マップの設定時の注意事項 31-41
 - ルータ ACL を VLAN マップと組み合わせて使用する
方法 31-41
 - 例 31-24, 32-44
 - レイヤ 4 情報 31-42
 - ログメッセージ 31-9
 - ACL エントリのシーケンスの再編集 31-16
 - AC (アクティブ クラスタ コマンド スイッチ) 5-10
 - Address Resolution Protocol
 - ARP を参照
 - Area Border Router
 - ABR を参照
 - ARP
 - カプセル化 34-11
 - スタティック キャッシュの設定 34-10
 - 設定 34-10
 - 定義 1-5, 6-29, 34-9
 - テーブル
 - アドレス解決 6-29
 - 管理 6-29
 - AS パス フィルタ、BGP 34-56
 - ASBR 34-27
 - AS、BGP 内 34-49
 - Auto-MDIX
 - 設定 10-21
 - 説明 10-21
 - Autonomous System Boundary Router
 - ASBR を参照
- ## B
- BackboneFast
 - イネーブル化 19-15
 - サポート 1-6
 - 説明 19-6
 - ディセーブル化 19-15
 - BGP
 - CIDR 34-62
 - clear コマンド 34-66
 - show コマンド 34-66
 - イネーブル化 34-49
 - コミュニティ フィルタリング 34-59
 - サポート 1-10
 - 集約アドレス 34-62
 - 集約ルート、設定 34-62
 - スーパーネット 34-62
 - セッションのリセット 34-52
 - 説明 34-46
 - デフォルト設定 34-47
 - ネイバの設定 34-60
 - ネイバ、タイプ 34-49
 - バージョン 4 34-46
 - パスの選択 34-53
 - ピア、設定 34-60
 - プレフィクス フィルタリング 34-58
 - マルチ VRF CE におけるルーティング セッション
34-72
 - マルチパス サポート 34-53
 - モニタ 34-66
 - ルーティング ドメイン連合 34-63
 - ルート ダンピング化 34-65
 - ルート マップ 34-55
 - ルート リフレクタ 34-64
 - Border Gateway Protocol
 - BGP を参照
 - BPDU
 - errdisable ステート 19-3
 - RSTP フォーマット 18-13
 - フィルタリング 19-3
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 19-12
 - サポート 1-6
 - 説明 19-3
 - ディセーブル化 19-12
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 19-13

- サポート 1-6
- 説明 19-3
- ディセーブル化 19-13
- Bridge Protocol Data Unit
 - BPDU を参照
- C
- CA の信頼点 8-47
 - 設定 8-50
 - 定義 8-47
- CDP
 - イネーブル化およびディセーブル化
 - インターフェイス上 25-5
 - スイッチ上 25-4
 - 概要 25-2
 - 更新 25-3
 - サポート 1-5
 - 信頼境界機能 32-40
 - スイッチ クラスタの自動検出 5-5
 - 設定 25-3
 - 説明 25-2
 - タイマーおよびホールドタイム、設定 25-3
 - デフォルト設定 25-3
 - 電力ネゴシエーションの拡張機能 10-7
 - モニタ 25-6
 - ルーティング デバイスでのディセーブル化 25-4?25-5
 - レイヤ2 プロトコル トンネリング 16-9
- CE デバイス 34-67
- CE デバイス内のマルチ VRF
 - マルチ VRF CE を参照
- CEF
 - IPv6 35-15
 - イネーブル化 34-79
 - 定義 34-78
 - 分散 34-78
- CGMP
 - IGMP スヌーピングの学習方法 23-9
 - 概要 39-8
 - キャッシュに格納されたグループ エントリのクリア 39-55
 - サーバ サポート機能 39-8
 - サーバ サポート機能のイネーブル化 39-35
 - スイッチ サポート 1-4
 - マルチキャスト グループへの加入 23-3
- CIDR 34-62
- CipherSuite 8-49
- CipherSuite 暗号化 8-49
- Cisco 7960 IP Phone 15-2
- Cisco Discovery Protocol
 - CDP を参照
- Cisco Express Forwarding
 - CEF を参照
- Cisco Group Management Protocol
 - CGMP を参照
- Cisco Intelligence Engine 2100 シリーズ コンフィギュレーション レジストラ
 - CNS を参照
- Cisco IOS DHCP サーバ
 - DHCP を参照
- Cisco IOS ファイル システム
 - IFS を参照
- Cisco Network Assistant
 - Network Assistant を参照
- CiscoWorks 2000 1-5, 30-5
- CIST リージョナルルート
 - MSTP を参照
- CIST ルート
 - MSTP を参照
- Classless InterDomain Routing
 - CIDR を参照
- CLI
 - エラー メッセージ 2-6
 - クラスタの管理 5-16
 - コマンド モード 2-2
 - コマンド出力のフィルタリング 2-12
 - コマンドの no および default 形式 2-5
 - コマンドの省略 2-5
 - コンフィギュレーション ロギング 2-6
 - 説明 1-5
 - ヒストリ
 - コマンドの呼び出し 2-7
 - 説明 2-7
 - ディセーブル化 2-8
 - バッファ サイズの変更 2-7
 - ヘルプ、表示 2-4
 - 編集機能
 - イネーブル化およびディセーブル化 2-9
 - 画面幅よりも長いコマンドライン 2-11
 - キーストロークによる編集 2-9

CNS

Configuration Engine

ConfigID、DeviceID、ホスト名 4-4

イベント サービス 4-3

コンフィギュレーション サービス 4-3

説明 4-2

組み込み型エージェント

イベントエージェントのイネーブル化 4-9

コンフィギュレーション エージェントのイ
ネーブル化 4-10

自動設定のイネーブル化 4-8

説明 4-6

Coarse Wave Division Multiplexer

CWDM SFP も参照

config.text 3-13

configure terminal コマンド 10-11

config-vlan モード 2-3, 12-8

CoS

プライオリティの信頼 15-7

プライオリティの変更 15-7

レイヤ 2 フレーム 32-2

CoS/DSCP マップ、QoS 32-63

crashinfo ファイル 42-30

CWDM SFP 1-22

D

default コマンド 2-5

description コマンド 10-25

DHCP

Cisco IOS サーバ データベース

設定 21-15

説明 21-7

デフォルト設定 21-9

イネーブル化

サーバ 21-11

リレー エージェント 21-11

DHCP Option 82

回線 ID サブオプション 21-5

概要 21-4

設定時の注意事項 21-10

デフォルト設定 21-9

転送アドレス、指定 21-11

パケットフォーマット、サブオプション

回線 ID 21-5

リモート ID 21-5

表示 21-16

ヘルパー アドレス 21-11

リモート ID サブオプション 21-5

DHCP スヌーピング

Option 82 データ挿入 21-4

trusted インターフェイス 21-3

untrusted インターフェイス 21-3

untrusted メッセージ 21-3

エッジスイッチからの untrusted パケットの受信
21-3, 21-13

設定時の注意事項 21-10

デフォルト設定 21-9

バインディング データベース

DHCP スヌーピング バインディング データ
ベースを参照

バインディング テーブルの表示 21-16

プライベート VLAN 21-14

メッセージ交換プロセス 21-4

DHCP スヌーピング バインディング データベース

イネーブル化 21-15

エージェント統計情報の消去 21-16

エントリ 21-7

削除

データベース エージェント 21-15

バインディング 21-16

バインディング ファイル 21-15

ステータスと統計情報の表示 21-16

設定 21-15

設定時の注意事項 21-10

説明 21-7

データベースの更新 21-16

デフォルト設定 21-9

バインディング 21-7

バインディング エントリ、表示 21-16

バインディング ファイル

フォーマット 21-8

保存場所 21-7

バインディングの追加 21-15

表示 21-16

ステータスおよび統計情報 21-16

バインディング エントリ 21-16

リセット

タイムアウト値 21-15

遅延値 21-15

DHCP スヌーピング バインディング テーブル

DHCP スヌーピング バインディング データベース
を参照

- DHCP バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP バインディング テーブル
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP ベースの自動設定
 - BOOTP との関係 3-4
 - 概要 3-4
 - クライアント要求のメッセージ交換 3-4
 - サポート 1-5
 - 設定
 - DNS 3-7
 - TFTP サーバ 3-6
 - クライアント側 3-4
 - サーバ 21-11
 - サーバ側 3-5
 - リレー デバイス 3-7
 - リース オプション
 - IP アドレス情報 3-5
 - コンフィギュレーション ファイルの受信 3-6
 - リレー サポート 1-5, 1-11
 - 例 3-9
- Differentiated Services Code Point 32-2
- DiffServ アーキテクチャ、QoS 32-2
- Diffusing Update Algorithm (DUAL) 34-37
- Distance Vector Multicast Routing Protocol
 - DVMRP を参照
- distribute-list コマンド 34-90
- DNS
 - DHCP ベースの自動設定 3-7
 - IPv6 内 35-4
 - 概要 6-17
 - サポート 1-5
 - 設定 6-17
 - 設定の表示 6-18
 - デフォルト設定 6-17
- DoS 攻撃 24-2
- dot1q-tunnel スイッチポート モード 12-22
- DSCP 1-9, 32-2
- DSCP/CoS マップ、QoS 32-66
- DSCP/DSCP 変換マップ、QoS 32-67
- DTP 1-7, 12-21
- DUAL 有限状態マシン、EIGRP 34-38
- DVMRP
 - DVMRP ルータへの PIM ドメインの接続 39-42
- mrinfo 要求、応答 39-46
- インターオペラビリティ
 - Cisco IOS ソフトウェア 39-8
 - シスコ デバイス 39-40
- 概要 39-7
- サポート 1-11
- 自動サマライズ
 - サマリー アドレスの設定 39-51
 - ディセーブル化 39-53
- 送信元配信ツリー、構築 39-8
- トンネル
 - 設定 39-42
 - ネイバ情報の表示 39-46
- ネイバ
 - 情報の表示 39-46
 - デフォルト ルートのアドバタイズ 39-45
 - 非プルーニング ネイバとのピアリングの禁止 39-49
 - 非プルーニング ネイバの拒否 39-48
 - プローブ メッセージによる検出 39-40
- ユニキャスト ルーティングのイネーブル化 39-47
- ルーティング テーブル 39-8
- ルート
 - MBONE に入る個数の制限 39-50
 - Syslog メッセージのスレッシユホールドの変更 39-51
 - 削除 39-55
 - すべてをアドバタイズ 39-53
 - ネイバへのデフォルト ルートのアドバタイズ 39-45
 - 表示 39-56
 - メトリック オフセットの追加 39-53
 - 優先度 39-53
 - ユニキャスト ルート アドバタイズの制限 39-40
 - レポート メッセージで取得された DVMRP ルートのキャッシュへの格納 39-47
- dynamic auto トランキンング モード 12-21
- dynamic desirable トランキンング モード 12-21
- Dynamic Host Configuration Protocol
 - DHCP ベースの自動設定を参照
- Dynamic Trunking Protocol
 - DTP を参照

E

EBGP 34-45

EIGRP

インターフェイス パラメータ、設定 34-41

コンポーネント 34-37

サポート 1-10

スタブルールティン グ 34-43

設定 34-40

定義 34-37

デフォルト設定 34-38

認証 34-42

モニタ 34-44

Enhanced IGRP

EIGRP を参照

EtherChannel

IEEE 802.3ad、説明 33-6

LACP

システム プライオリティ 33-19

ステータスの表示 33-21

説明 33-6

他の機能との相互作用 33-6

ポート プライオリティ 33-20

ホットスタンバイ ポート 33-18

モード 33-6

PAgP

Catalyst 1900 との互換性 33-17

学習方式およびプライオリティの設定
33-17

サポート 1-4

集約ポート ラーナー 33-17

ステータスの表示 33-21

説明 33-4

他の機能との相互作用 33-5

モード 33-5

サポート 1-4

自動作成 33-4, 33-6

ステータスの表示 33-21

設定

レイヤ 2 インターフェイス 33-11

レイヤ 3 物理インターフェイス 33-14

レイヤ 3 ポートチャンネル論理インターフェイス
33-13

設定時の注意事項 33-10

説明 33-2

相互作用

STP 33-10

VLAN 33-10

チャンネル グループ

番号 33-3

物理インターフェイスと論理インターフェイス
のバインド 33-3

デフォルト設定 33-9

転送方式 33-7, 33-16

ポート グループ 10-6

ポートチャンネル インターフェイス

説明 33-3

番号 33-3

レイヤ 2 インターフェイスの設定 33-11

レイヤ 3 インターフェイス 34-4

ロードバランシング 33-7, 33-16

論理インターフェイス、説明 33-3

EtherChannel ガード

イネーブル化 19-15

説明 19-8

ディセーブル化 19-15

EUI 35-4

Express Setup 1-3

『Getting Started Guide』も参照

Extended Universal Identifier

EUI を参照

Extensible Authentication Protocol over LAN 9-2

External BGP

EBGP を参照

F

FIB 34-78

Flex Link

設定 20-6

設定時の注意事項 20-5

説明 20-2

デフォルト設定 20-5

モニタ 20-10

Forwarding Information Base

FIB を参照

FTP

MIB ファイルへのアクセス A-4

イメージファイル

アップロード B-30

準備、サーバ B-27

ダウンロード B-28

古いイメージの削除 B-29

- コンフィギュレーションファイル
 - アップロード B-15
 - 概要 B-13
 - 準備、サーバ B-14
 - ダウンロード B-14

- G**
- get-bulk-request 動作 30-4
- get-next-request 動作 30-4, 30-5
- get-request 動作 30-4, 30-5
- get-response 動作 30-4
- GUI
 - デバイス マネージャおよび Network Assistant を参照

- H**
- Hello タイム
 - MSTP 18-24
 - STP 17-21
- Hot Standby Router Protocol
 - HSRP を参照
- HP OpenView 1-5
- HSRP
 - ICMP リダイレクト メッセージのサポート 38-11?38-12
 - 概要 38-2
 - クラスタ グループにバインド 38-12
 - クラスタ スタンバイ グループの考慮事項 5-11
 - クラスタ設定の自動復旧 5-13
 - クラスタ、クラスタ スタンバイ グループ、およびスタンバイ コマンド スイッチも参照
 - コマンドスイッチの冗長構成 1-2, 1-6
 - 設定 38-5
 - タイマー 38-10
 - 注意事項 38-5
 - 追跡 38-7
 - 定義 38-1
 - デフォルト設定 38-5
 - 認証ストリング 38-10
 - プライオリティ 38-7
 - モニタ 38-13
 - レイヤ 3 ルータの冗長構成 1-10
- HTTPS 8-47
 - 自己署名証明書 8-48

- 設定 8-51

- I**
- IBGP 34-45
- ICMP
 - IPv6 35-4
 - time-to-live-exceeded メッセージ 42-22
 - traceroute 42-22
 - サポート 1-10
 - 到達不能メッセージ 31-22
 - 到達不能メッセージおよび IPv6 37-4
 - 到達不能、ACL 31-23
 - リダイレクト メッセージ 34-12
- ICMP ping
 - 概要 42-18
 - 実行 42-18
- ICMP Router Discovery Protocol
 - IRDP を参照
- ICMPv6 35-4
- IDS 装置
 - 入力 RSPAN 27-22
 - 入力 SPAN 27-14
- IEEE 802.1D
 - STP を参照
- IEEE 802.1p 15-2
- IEEE 802.1Q
 - カプセル化 12-20
 - 設定に関する制約 12-23
 - その他の機能を含むトンネル ポート 16-7
 - タグなしトラフィック用のネイティブ VLAN 12-28
 - トランク ポート 10-4
 - トンネリング
 - 説明 16-2
 - 他の機能との互換性 16-7
 - デフォルト値 16-5
- IEEE 802.1s
 - MSTP を参照
- IEEE 802.1w
 - RSTP を参照
- IEEE 802.1x
 - ポートベース認証を参照
- IEEE 802.3ad
 - EtherChannel を参照

- IEEE 802.3af
 - PoE を参照
- IEEE 802.3x フロー制御 10-19
- ifIndex 値、SNMP 30-6
- IFS 1-5
- IGMP
 - Join メッセージ 23-3
 - 概要 39-2
 - キャッシュ エントリの削除 39-55
 - クエリー 23-4
 - グループへのアクセスの制御 39-30
 - 高速スイッチング 39-34
 - サポート 1-4
 - サポート対象のバージョン 23-3
 - スイッチの設定
 - グループのメンバー 39-29
 - スタティックに接続されたメンバー 39-34
 - 即時脱退、イネーブル化 23-11, 36-10
 - 脱退タイマーの設定
 - イネーブル化 23-11
 - 説明 23-6
 - デフォルト設定 39-29
 - 統計情報の表示 39-56
 - バージョン 1
 - 説明 39-3
 - バージョン 2 への変更 39-31
 - バージョン 2
 - クエリー タイムアウト 39-33
 - グループのプルーニング 39-33
 - 最大クエリー応答時間 39-33
 - 説明 39-3
 - バージョン 1 への変更 39-31
 - ホストクエリー インターバル、変更 39-32
 - マルチキャストグループからの脱退 23-5
 - マルチキャストグループへの加入 23-3
 - マルチキャストトラフィックのフラッドイング
 - インターフェイスでディセーブル 23-14
 - クエリー送信要求 23-13
 - グローバル Leave 23-13
 - 時間の制御 23-12
 - フラッドイングモードからの回復 23-13
 - マルチキャストの到達可能性 39-29
 - レポートの抑制
 - 説明 23-6
 - ディセーブル化 23-16, 36-12
- IGMP グループ
 - 最大数の設定 23-30
 - フィルタリングの設定 23-28
- IGMP スヌーピング
 - VLAN 設定 23-8
 - アドレスエイリアス 23-2
 - イネーブル化およびディセーブル化 23-7, 36-7
 - クエリア
 - 設定 23-14
 - 設定時の注意事項 23-14
 - グローバル コンフィギュレーション 23-7
 - サポート 1-4
 - サポート対象のバージョン 23-3
 - 設定 23-7
 - 即時脱退 23-6
 - 定義 23-2
 - デフォルト設定 23-7, 36-6, 36-7
 - 方法 23-8
 - モニタ 23-17, 36-13
- IGMP スロットリング
 - 設定 23-31
 - 説明 23-27
 - デフォルト設定 23-28
 - 表示 23-32
- IGMP 即時脱退
 - イネーブル化 23-11
 - 設定時の注意事項 23-11
 - 説明 23-6
- IGMP フィルタリング
 - サポート 1-4
 - 設定 23-28
 - 説明 23-27
 - デフォルト設定 23-28
 - モニタ 23-32
- IGMP プロファイル
 - コンフィギュレーション モード 23-28
 - 設定 23-28
 - 適用 23-29
- IGP 34-27
- interface range macro コマンド 10-14
- interface コマンド 10-11
- Interior Gateway Protocol
 - IGP を参照
- Internal BGP
 - IBGP を参照

- Internet Control Message Protocol
 - ICMP を参照
- Internet Group Management Protocol
 - IGMP を参照
- Internet Protocol version 6
 - IPv6 を参照
- IP ACL
 - QoS の分類 32-7
 - 暗黙の拒否 31-11, 31-16
 - 名前付き 31-16
 - 未定義 31-23
 - 無視マスク 31-11
- ip cef コマンド 34-78
- ip igmp profile コマンド 23-28
- IP Phone
 - QoS 15-2
 - QoS によるポートセキュリティの確保 32-39
 - QoS 信頼境界機能 32-39
 - 自動分類およびキューイング 32-21
 - 設定 15-5
- IP precedence 32-2
- IP traceroute
 - 概要 42-22
 - 実行 42-22
- IP アドレス
 - 128 ビット 35-2
 - IP 情報も参照
 - IP ルーティング 34-5
 - IPv6 35-2
 - MAC アドレスとの相互作用 34-9
 - クラス 34-6
 - クラスタ アクセス 5-2
 - 検出 6-29
 - 候補またはメンバー 5-3, 5-13
 - コマンドスイッチ 5-3, 5-11, 5-13
 - 冗長クラスタ 5-11
 - スタンバイ コマンドスイッチ 5-11, 5-13
 - デフォルト設定 34-5
 - モニタ 34-19
- IP サービス イメージ 1-2
- IP 指定ブロードキャスト 34-15
- IP 情報
 - デフォルト設定 3-3
 - 割り当て
 - DHCP ベースの自動設定の使用 3-4
 - 手動 3-11
- IP ソース ガード
 - 802.1x 21-18
 - DHCP スヌーピング 21-17
 - EtherChannel 21-18
 - TCAM エントリ 21-18
 - VRF 21-18
 - イネーブル化 21-19
 - スタティック バインディング
 - 削除 21-19
 - 追加 21-19
 - 設定時の注意事項 21-18
 - 説明 21-17
 - 送信元 IP アドレス フィルタリング 21-17
 - 送信元 IP および MAC アドレス フィルタリング 21-17
 - ディセーブル化 21-19
 - デフォルト設定 21-18
 - トランク インターフェイス 21-18
 - バインディング テーブル 21-17
 - バインディング設定
 - 自動 21-17
 - 手動 21-17
 - 表示
 - 設定 21-20
 - バインディング 21-20
 - フィルタリング
 - 送信元 IP アドレス 21-17
 - 送信元 IP および MAC アドレス 21-17
 - プライベート VLAN 21-18
 - ポートセキュリティ 21-18
 - ルーテッド インターフェイス 21-18
- IP ブロードキャスト アドレス 34-17
- IP プロトコル
 - ACL 31-12
 - ルーティング 1-10
- IP ベース イメージ 1-2
- IP マルチキャスト ルーティング
 - MBONE
 - sdr キャッシュ エントリの削除 39-55
 - sdr キャッシュ エントリの存在期間の制限 39-37
 - sdr キャッシュの表示 39-56
 - sdr リスナー サポート機能のイネーブル化 39-36
 - Session Directory (sdr) ツール、説明 39-36
 - アドバタイズされる DVMRP ルートの制限 39-50

- 会議セッション アナウンスメント用の SAP パケット 39-36
- 説明 39-36
- PIMv1 および PIMv2 のインターオペラビリティ 39-9
- Reverse Path Forwarding (RPF) チェック 39-6
- RP
 - PIMv2 BSR の設定 39-19
 - 自動 RP および BSR の使用法 39-23
 - 自動 RP の設定 39-14
 - 手動割り当て 39-13
 - マッピング情報のモニタ 39-24
- アドレス
 - すべてのシステム 39-3
 - すべてのマルチキャスト ルータ 39-3
 - ホスト グループ アドレス範囲 39-3
- イネーブル化
 - PIM モード 39-12
 - マルチキャスト転送 39-11
- 管理の有効範囲付き境界、説明 39-37
- グループ /RP マッピング
 - BSR 39-5
 - 自動 RP 39-5
- シスコの実装 39-2
- 自動 RP
 - BSR との使用法 39-23
 - 概要 39-5
 - 既存の SM クラウドへの追加 39-15
 - キャッシュのクリア 39-55
 - 候補 RP スプーフィングの禁止 39-17
 - 新規インターネットワークでの設定 39-15
 - 設定時の注意事項 39-10
 - 着信 RP アナウンスメント メッセージのフィルタリング 39-17
 - 問題のある RP への Join メッセージの送信禁止 39-17
 - 利点 39-14
- 設定
 - IP マルチキャスト境界 39-37
 - 基本的なマルチキャスト ルーティング 39-11
- デフォルト設定 39-9
- 統計情報、システムおよびネットワークの表示 39-55
- ブートストラップ ルータ
 - IP マルチキャスト境界の定義 39-20
 - PIM ドメイン境界の定義 39-19
- 概要 39-5
- 候補 BSR の設定 39-21
- 候補 RP の設定 39-22
- 自動 RP による使用法 39-23
- 設定時の注意事項 39-10
- プロトコルの動作 39-2
- マルチキャスト転送、説明 39-6
- モニタ
 - パケット速度および損失情報 39-56
 - パスのトレース 39-56
 - ピアリング デバイス 39-56
- ルーティング テーブル
 - 削除 39-55
 - 表示 39-56
- IP ユニキャスト ルーティング
 - ARP 34-9
 - BGP も参照
 - EIGRP も参照
 - EtherChannel レイヤ 3 インターフェイス 34-4
 - IGP 34-27
 - IP アドレス
 - クラス 34-6
 - 設定 34-5
 - IPv6 35-3
 - IRDP 34-13
 - MAC アドレスおよび IP アドレス 34-9
 - OSPF も参照
 - RIP も参照
 - SVI を使用 34-4
 - UDP 34-16
 - VLAN 間 34-2
 - アドレス解決 34-9
 - イネーブル化 34-20
 - 管理距離 34-81, 34-91
 - 逆アドレス解決 34-9
 - クラスレス ルーティング 34-7
 - 再配信 34-82
 - サブネットゼロ 34-7
 - サブネットマスク 34-6
 - 指定ブロードキャスト 34-15
 - スーパーネット 34-7
 - スタティック ルーティング 34-3
 - スタティック ルートの設定 34-80
 - 設定手順 34-4
 - ダイナミック ルーティング 34-3
 - ディセーブル化 34-20

- デフォルト
 - アドレス指定の設定 34-5
 - ゲートウェイ 34-12
 - ネットワーク 34-81
 - ルーティング 34-2
 - ルート 34-81
 - 認証鍵 34-91
 - パッシブ インターフェイス 34-89
 - ブロードキャスト
 - アドレス 34-17
 - ストーム 34-14
 - パケット 34-14
 - フラッドイング 34-17
 - プロキシ ARP 34-9
 - プロトコル
 - ダイナミック 34-3
 - ディスタンス ベクタ 34-3
 - リンクステート 34-3
 - ルーテッド ポート 34-4
 - レイヤ3 インターフェイス 34-4
 - レイヤ3 インターフェイスへの IP アドレスの割り当て 34-6
 - IP ルーティング
 - イネーブル化 34-20
 - インターフェイスの接続 10-10
 - ディセーブル化 34-20
 - IP ルート、モニタ 34-93
 - IPv4 ACL
 - インターフェイスへの適用 31-22
 - 拡張、作成 31-11
 - 名前付き 31-16
 - 標準、作成 31-10
 - IPv4 と IPv6
 - インターフェイスの設定 35-13
 - 相違点 35-2
 - デュアルプロトコル スタック 35-6
 - IPv6
 - ACL
 - 一致条件 37-3
 - 制限事項 37-3
 - 表示 37-9
 - ポート 37-2
 - 優先順位 37-2
 - ルータ 37-2
 - CEFv6 35-15
 - ICMP 35-4
 - ICMP レート制限 35-15
 - OSPF 35-20
 - RIP 35-18
 - SDM テンプレート 7-3, 35-8, 36-1, 37-1
 - アドレス 35-2
 - アドレス フォーマット 35-3
 - アドレスの割り当て 35-10
 - アプリケーション 35-6
 - イネーブル化 35-10
 - 機能制限 35-7
 - 近接ディスカバリ 35-4
 - サポートされている機能 35-3
 - サポートされない機能 35-7
 - 自動設定 35-5
 - スイッチの制限 35-7
 - スタティック ルートの設定 35-16
 - 定義 35-1
 - デフォルト設定 35-10
 - パス MTU ディスカバリ 35-4
 - 目的 35-2
 - モニタ 35-23
 - 利点 35-2
 - IPv6 トラフィック、フィルタリング 37-4
 - IP マルチキャスト ルーティング
 - CGMP も参照
 - DVMRP も参照
 - IGMP も参照
 - PIM も参照
 - IRDP
 - サポート 1-10
 - 設定 34-13
 - 定義 34-13
 - ISL
 - IEEE 802.1 トンネリングによるトランッキング 16-5
 - IPv6 35-3
 - カプセル化 1-7, 12-20
 - トランク ポート 10-4
- ## J
- Join メッセージ、IGMP 23-3

- K**
- KDC**
- Kerberos も参照
 - 説明 8-35
- Kerberos**
- KDC 8-35
 - TGT 8-37
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-35
 - サーバ 8-37
 - サポート 1-9
 - 証明書 8-35
 - 信頼できるサードパーティとしてのスイッチ 8-35
 - 設定 8-39
 - 設定例 8-35
 - 説明 8-35
 - チケット 8-35
 - 動作 8-37
 - 認証の取得
 - KDC 8-38
 - 境界スイッチ 8-38
 - ネットワーク サービス 8-38
 - 用語 8-36
 - レルム 8-37
- Key Distribution Center**
- KDC を参照
- L**
- l2protocol-tunnel コマンド 16-14**
- LACP**
- EtherChannel を参照
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-10
- LDAP 4-3**
- LED、スイッチ**
- ハードウェア インストール ガイドを参照
- Lightweight Directory Access Protocol**
- LDAP を参照
- Link Aggregation Control Protocol**
- EtherChannel を参照
- Link State Advertisement (LSA) 34-31**
- Long-Reach Ethernet (LRE) テクノロジー 1-16**
- LRE プロファイル、スイッチ クラスターの考慮事項 5-15**
- M**
- MAC アドレス**
- ACL 31-30
 - IP アドレスとの相互作用 34-9
 - IP 送信元バインディング テーブルでの表示 21-20
 - VLAN との対応付け 6-22
 - アドレス テーブルの作成 6-21
 - エージング タイム 6-22
 - 検出 6-29
 - スタティック
 - 許可 6-27
 - 削除 6-26
 - 追加 6-25
 - 特性 6-25
 - 廃棄 6-27
 - ダイナミック
 - 削除 6-23
 - ラーニング 6-21
 - デフォルト設定 6-22
 - 表示 6-27
- MAC アドレス テーブル移動更新**
- 設定 20-7
 - 設定時の注意事項 20-5
 - 説明 20-3
 - デフォルト設定 20-5
 - モニタ 20-10
- MAC アドレス通知、サポート 1-11**
- MAC アドレスと VLAN のマッピング 12-33**
- MAC 拡張 ACL**
- QoS の設定 32-46
 - QoS の分類 32-5
 - 作成 31-30
 - 定義 31-30
 - レイヤ 2 インターフェイスへの適用 31-31
- MAC 認証バイパス**
- 設定 9-37
 - 説明 9-17
 - 注意事項 9-22
- maximum-paths コマンド 34-53, 34-80**
- MHSRP 38-4**
- MIB**
- FTP によるファイルへのアクセス A-4
 - SNMP との相互作用 30-5
 - 概要 30-2
 - サポート A-1

- ファイルの位置 A-4
- MSDP
 - DM 領域
 - SA メッセージの送信 40-18
 - 発信元アドレスの設定 40-19
 - MSDP 接続および統計情報のクリア 40-20
 - SA メッセージ
 - TTL によるデータの制限 40-14
 - アドバタイズされる送信元の制限 40-10
 - キャッシュ エントリのクリア 40-20
 - キャッシング 40-7
 - 着信のフィルタリング 40-15
 - 定義 40-2
 - ピアからのフィルタリング 40-11
 - ピアへのフィルタリング 40-13
 - モニタ 40-20
 - 概要 40-2
 - 加入遅延、定義 40-7
 - サポート 1-11
 - 送信元情報の制御
 - スイッチから発信 40-9
 - スイッチで受信 40-15
 - スイッチで転送 40-13
 - デフォルト設定 40-4
 - 発信元アドレス、変更 40-19
 - ピア
 - シャットダウン 40-17
 - 送信元情報の要求 40-9
 - デフォルト設定 40-4
 - ピアリング関係、概要 40-2
 - モニタ 40-20
 - ピア RPF フラッドイング 40-2
 - フィルタリング
 - 着信 SA メッセージ 40-15
 - ピアからの SA 要求メッセージ 40-11
 - ピアへの SA メッセージ 40-13
 - メッシュ グループ
 - 設定 40-17
 - 定義 40-17
 - 利点 40-3
- MSTP
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 19-12
 - 説明 19-3
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 19-13
- 説明 19-3
- CIST リージョナルルート 18-3
- CIST ルート 18-5
- CIST、説明 18-3
- CST
 - 定義 18-3
 - リージョン間の動作 18-4
- EtherChannel ガード
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-8
- IEEE 802.1D とのインターオペラビリティ
 - 移行プロセスの再起動 18-27
 - 説明 18-9
- IEEE 802.1s
 - 実装 18-7
 - ポートの役割名の変更 18-7
 - 用語 18-5
- IST
 - 定義 18-3
 - マスター 18-3
 - リージョン内の動作 18-3
- MST リージョン
 - CIST 18-3
 - IST 18-3
 - サポートできるスパニングツリー インスタンス 18-2
 - 設定 18-17
 - 説明 18-2
 - ホップ カウント メカニズム 18-5
- PortFast
 - イネーブル化 19-10
 - 説明 19-2
- PortFast 対応ポートのシャットダウン 19-3
- VLAN と MST インスタンスのマッピング 18-18
- インターフェイス ステート、ブロッキングからフォワーディング 19-2
- オプション機能のデフォルト設定 19-10
- 概要 18-2
- 拡張システム ID
 - 異常動作 18-19
 - セカンダリ ルート スイッチへの影響 18-20
 - ルート スイッチへの影響 18-19
- 境界ポート
 - 設定時の注意事項 18-17
 - 説明 18-6
- サポートされるインスタンス 17-10
- サポートされるオプション機能 1-6

- ステータスの表示 18-28
- 設定
 - Hello タイム 18-24
 - MST リージョン 18-17
 - 高速コンバージェンス用リンク タイプ 18-26
 - 最大エージング タイム 18-25
 - 最大ホップ カウント 18-26
 - スイッチプライオリティ 18-23
 - セカンダリ ルート スイッチ 18-20
 - 転送遅延時間 18-25
 - ネイバ タイプ 18-27
 - パス コスト 18-22
 - ポート プライオリティ 18-21
 - ルート スイッチ 18-19
- 設定時の注意事項 18-17, 19-10
- デフォルト設定 18-16
- モード間のインターオペラビリティと下位互換性 17-10
- モードのイネーブル化 18-17
- ルート ガード
 - イネーブル化 19-16
 - 説明 19-8
- ルート スイッチ
 - 異常動作 18-19
 - 拡張システム ID の影響 18-19
 - 設定 18-19
- ルート スイッチとしての選択防止 19-8
- ループ ガード
 - イネーブル化 19-17
 - 説明 19-9
- Multicast Source Discovery Protocol
 - MSDP を参照
- Multiple HSRP
 - MHSRP を参照
- MVR
 - IGMPv3 23-22
 - アドレス エイリアス 23-22
 - アプリケーション例 23-20
 - インターフェイスの設定 23-24
 - グローバル パラメータの設定 23-23
 - サポート 1-4
 - 設定時の注意事項 23-22
 - 説明 23-19
 - デフォルト設定 23-22
 - マルチキャスト TV アプリケーション 23-20
 - モード 23-23
- モニタ 23-26
- N
- NAC
 - AAA ダウン ポリシー 1-9
 - RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 検証 9-38
 - RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 認証 9-38
 - アクセス不能認証バイパス 9-34, 1-8
 - クリティカル認証 9-14, 9-34
 - レイヤ 2 IEEE 802.1x 検証 1-8, 9-18, 9-38
 - レイヤ 2 IP 検証 1-8
- NameSpace Mapper
 - NSM を参照
- Network Assistant
 - イメージファイルのダウンロード 1-3
 - ウィザード 1-3
 - ガイド モード 1-3
 - 管理オプション 1-3
 - 機能 1-3
 - スイッチのアップグレード B-21
 - 説明 1-5
 - 要件 xliiii
- Network Time Protocol
 - NTP を参照
- no switchport コマンド 10-5
- no 形式 2-5
- not-so-stubby area
 - NSSA を参照
- NSM 4-3
- NSSA、OSPF 34-31
- NTP
 - アクセスの制限
 - アクセス グループの作成 6-9
 - インターフェイスごとの NTP サービスのディセーブル化 6-11
 - アソシエーション
 - サーバ 6-6
 - 定義 6-3
 - 認証 6-5
 - ピア 6-6
 - ブロードキャスト メッセージのイネーブル化 6-8
 - 概要 6-2
 - サポート 1-5

- 時刻
 - サービス 6-3
 - 同期化 6-2
 - ストラタム 6-3
 - 設定の表示 6-12
 - 送信元 IP アドレス、設定 6-11
 - デバイスの同期化 6-6
 - デフォルト設定 6-5
- O**
- Open Shortest Path First
 - OSPF を参照
 - OSPF
 - IPv6 35-20
 - LSA グループ同期 34-34
 - インターフェイス パラメータ、設定 34-30
 - エリア パラメータ、設定 34-31
 - 仮想リンク 34-33
 - サポート 1-10
 - 設定 34-29
 - 説明 34-27
 - デフォルト設定
 - 設定 34-28
 - メトリック 34-33
 - ルート 34-33
 - モニタ 34-35
 - ルータ ID 34-35
 - ルート サマライズ 34-33
- P**
- PAgP
 - EtherChannel を参照
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-10
 - PBR
 - PBR の高速スイッチング 34-88
 - イネーブル化 34-87
 - 定義 34-85
 - ローカル PBR 34-88
 - PC (パッシブ クラスタ コマンド スイッチ) 5-10
 - PE デバイス 34-68
 - PE/CE ルーティング、設定 34-72
 - Per-VLAN Spanning-Tree plus
 - PVST+ を参照
- PIM**
- dense (密) モード
 - RPF チェック 39-7
 - 概要 39-4
 - ランデブー ポイント (RP)、説明 39-5
 - sparse (疎) モード
 - Join メッセージおよび共有ツリー 39-5
 - RPF チェック 39-7
 - 概要 39-5
 - プルーニング メッセージ 39-5
 - SPT、使用の延期 39-26
 - 概要 39-3
 - 共有ツリーおよび送信元ツリー、概要 39-25
 - サポート 1-10
 - デフォルト設定 39-9
 - ネイバの表示 39-56
 - バージョン
 - v2 の改善点 39-4
 - インターオペラビリティ 39-9
 - インターオペラビリティに関するトラブルシューティング 39-24
 - モードのイネーブル化 39-12
 - ルータクエリー メッセージ インターバル、変更 39-28
- PIM/DVMRP、スヌーピング方法 23-9**
- ping**
- 概要 42-18
 - 実行 42-18
 - 文字出力の説明 42-19
- PoE**
- auto モード 10-8
 - CDP の電力ネゴシエーション拡張機能 10-7
 - IEEE 電力分類レベル 10-8
 - static モード 10-9
 - サポートされるデバイス 10-7
 - サポート対象の標準 10-7
 - シスコ インテリジェント電力管理 10-7
 - 受電装置検出および初期電力割り当て 10-7
 - 設定 10-22
 - 低電力モードで動作する高電力デバイス 10-7
 - 電力管理モード 10-8
 - 電力消費 10-23
 - 電力消費を含む CDP、説明 10-7
 - 電力をネゴシエーションする CDP、説明 10-7
 - トラブルシューティング 42-15
 - パワー バジェット 10-23
 - ポートごとにサポートされるワット数 10-7

PortFast

- イネーブル化 19-10
- サポート 1-6
- 説明 19-2
- モード、スパニングツリー 12-34

Power over Ethernet

- PoE を参照

Protocol-Independent Multicast Protocol

- PIM を参照

PVST+

- IEEE 802.1Q トランクのインターオペラビリティ 17-11
- サポートされるインスタンス 17-10
- 説明 17-9

Q

QoS

IP Phone

- 検出および信頼設定 32-21, 32-39
- 自動分類およびキューイング 32-21

MQC コマンド 32-1

QoS ラベル、定義 32-4

暗黙の拒否 32-7

概要 32-2

書き換え 32-20

基本モデル 32-3

キュー

- SRR、説明 32-14
- WTD、説明 32-13
- 位置 32-13
- 出力キューの特性の設定 32-73
- 入力キューの特性の設定 32-68
- ハイ プライオリティ (緊急) 32-19, 32-80

クラス マップ

- 設定 32-47
- 表示 32-82

グローバルなイネーブル化 32-35

サポート 1-9

自動 QoS

- VoIP 用のイネーブル化 32-26
- 実行コンフィギュレーションの影響 32-25
- 出力キューのデフォルト 32-22
- 生成コマンドの表示 32-27
- 生成コマンドのリスト 32-23
- 設定およびデフォルトの表示 32-30

設定時の注意事項 32-25

設定の表示 32-30

設定例 32-28

説明 32-21

ディセーブル化 32-27

トラフィックの分類 32-21

入力キューのデフォルト 32-22

出力インターフェイスの帯域幅の制限 32-80

出力キュー

- DSCP または CoS 値のマッピング 32-76
- SRR の共有重みの設定 32-79
- SRR のシェーピング重みの設定 32-78
- WTD スレッシュホールドの設定 32-74
- WTD、説明 32-19
- スケジューリング、説明 32-4
- スレッシュホールド マップの表示 32-77
- 説明 32-4

バッファ スペースの割り当て 32-74

バッファ割り当て方式、説明 32-18

フローチャート 32-17

信頼状態

- 信頼におけるデバイス 32-39
- 説明 32-5
- ドメイン内 32-36
- 別のドメインとの境界 32-42

設定

- DSCP マップ 32-63
- IP 拡張 ACL 32-44
- IP 標準 ACL 32-44
- MAC ACL 32-46
- 階層型のポリシー マップ 32-53
- 自動 QoS 32-21
- 集約ポリサー 32-60
- 出力キューの特性 32-73
- 信頼境界機能 32-39
- デフォルトのポート CoS 値 32-38
- ドメイン内のポートの信頼状態 32-36
- トランスペアレントな DSCP 32-41
- 入力キューの特性 32-68
- 物理ポートのポリシー マップ 32-49
- 別のドメインとの境界の DSCP 信頼状態 32-42

設定時の注意事項

自動 QoS 32-25

標準 QoS 32-33

デフォルトの自動設定 32-21

- デフォルトの標準設定 32-31
- 統計情報の表示 32-82
- トランスペアレントな DSCP 32-41
- 入力キュー
 - DSCP または CoS 値のマッピング 32-69
 - SRR の共有重みの設定 32-71
 - WTD スレッシュホールドの設定 32-69
 - WTD、説明 32-16
 - スケジューリング、説明 32-4
 - スレッシュホールド マップの表示 32-70
 - 説明 32-4
 - 帯域幅の割り当て 32-71
 - バッファ スペースの割り当て 32-70
 - バッファおよび帯域幅の割り当て、説明 32-16
 - プライオリティ キューの設定 32-72
 - プライオリティ キュー、説明 32-16
 - フローチャート 32-15
- パケットの変更 32-20
- フローチャート
 - 出力ポートのキューイングおよびスケジューリング 32-17
 - 入力ポートのキューイングおよびスケジューリング 32-15
 - 分類 32-6
 - ポリシングおよびマーキング 32-10
- 分類
 - DSCP の信頼状態、説明 32-5
 - IP ACL、説明 32-5, 32-7
 - IP precedence の信頼状態、説明 32-5
 - IP トラフィックのオプション 32-5
 - MAC ACL、説明 32-5, 32-7
 - クラス マップ、説明 32-7
 - 信頼性のある CoS 値、説明 32-5
 - 定義 32-4
 - 転送処理 32-3
 - トランスペアレントな DSCP、説明 32-41
 - 非 IP トラフィックのオプション 32-5
 - フレームおよびパケット 32-3
 - フローチャート 32-6
 - ポリシー マップ、説明 32-7
- ポリサー
 - 数 32-34
 - 設定 32-52, 32-57, 32-60
 - 説明 32-8
 - タイプ 32-9
 - 表示 32-82
- ポリシー マップ
 - SVI の階層 32-53
 - 階層型 32-8
 - 特性 32-49
 - 表示 32-82
 - 物理ポートの非階層型 32-49
 - ポリシー、インターフェイスへの結合 32-9
 - ポリシング
 - 説明 32-4, 32-8
 - トークンバケット アルゴリズム 32-9
 - マーキング、説明 32-4, 32-8
 - マークダウン アクション 32-52, 32-57
 - マッピング テーブル
 - CoS/DSCP 32-63
 - DSCP/CoS 32-66
 - DSCP/DSCP 変換 32-67
 - IP precedence/DSCP 32-64
 - タイプ 32-12
 - 表示 32-82
 - ポリシング済み DSCP 32-65
 - QoS の CoS 出力キュー スレッシュホールド マップ 32-19
 - QoS の CoS 入力キュー スレッシュホールド マップ 32-16
 - QoS の DSCP 出力キュー スレッシュホールド マップ 32-19
 - QoS の DSCP 入力キュー スレッシュホールド マップ 32-16
 - QoS の IP precedence/DSCP マップ 32-64
 - QoS の緊急キュー 32-80
 - QoS のポリシング済み DSCP マップ 32-65
 - QoS 用信頼境界機能 32-39
- R
- RADIUS
 - AAA サーバグループの定義 8-27
 - アトリビュート
 - バンダー固有 8-31
 - バンダー独自仕様 8-33
 - 概要 8-20
 - クラスタ 5-15
 - サーバの識別 8-22
 - サポート 1-9
 - 推奨するネットワーク環境 8-20
 - 設定
 - アカウンティング 8-30

- 許可 8-29
- 通信、グローバル 8-23, 8-31
- 通信、サーバ単位 8-22, 8-23
- 認証 8-25
- 複数の UDP ポート 8-23
- 設定の表示 8-34
- デフォルト設定 8-22
- 動作 8-21
- 方式リスト、定義 8-22
- ユーザがアクセスしたサービスの追跡 8-30
- ユーザへのサービスの制限 8-29
- Rapid Per-VLAN Spanning-Tree plus
 - Rapid PVST+ を参照
- Rapid PVST+
 - IEEE 802.1Q トランクのインターオペラビリティ 17-11
 - サポートされるインスタンス 17-10
 - 説明 17-9
- Rapid Spanning-Tree Protocol
 - RSTP を参照
- RARP 34-9
- rcommand コマンド 5-16
- RCP
 - イメージファイル
 - アップロード B-34
 - 準備、サーバ B-31
 - ダウンロード B-32
 - 古いイメージの削除 B-34
 - コンフィギュレーション ファイル
 - アップロード B-19
 - 概要 B-16
 - 準備、サーバ B-17
 - ダウンロード B-18
- redundant power system
 - support for 1-7
- Remote Authentication Dial-In User Service
 - RADIUS を参照
- Remote Copy Protocol
 - RCP を参照
- Remote Network Monitoring
 - RMON を参照
- Reverse Address Resolution Protocol
 - RARP を参照
- RFC
 - 1058、RIP 34-21
 - 1157、SNMPv1 30-2
 - 1166、IP アドレス 34-6
 - 1253、OSPF 34-27
 - 1305、NTP 6-2
 - 1587、NSSA 34-27
 - 1757、RMON 28-2
 - 1163、BGP 34-45
 - 1267、BGP 34-45
 - 1771、BGP 34-45
 - 1901、SNMPv2C 30-2
 - 1902 ~ 1907、SNMPv2 30-2
 - 1112、IP マルチキャストおよび IGMP 23-2
 - 2236、IP マルチキャストおよび IGMP 23-2
 - 2273 ~ 2275、SNMPv3 30-2
- RIP
 - IPv6 35-18
 - アドバタイズ 34-21
 - サポート 1-10
 - サマリー アドレス 34-24
 - スプリット ホライズン 34-24
 - 設定 34-22
 - 説明 34-21
 - デフォルト設定 34-21
 - 認証 34-24
 - ホップ カウント 34-21
- RMON
 - アラームおよびイベントのイネーブル化 28-3
 - 概要 28-2
 - サポート 1-11
 - サポート対象グループ 28-2
 - ステータスの表示 28-6
 - デフォルト設定 28-3
 - 統計
 - イーサネット グループの収集 28-5
 - グループ ヒストリの収集 28-4
- route-map コマンド 34-88
- Routing Information Protocol
 - RIP を参照
- RPS
 - support for 1-7
- RSPAN 27-3
 - VLAN ベース 27-6
 - 宛先ポート 27-7
 - 概要 1-11, 27-2
 - 受信トラフィック 27-5
 - ステータスの表示 27-25

- セッション
 - SPAN 送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 27-24
 - 作成 27-19
 - 着信トラフィックのイネーブル化 27-22
 - 定義 27-3
 - モニタ対象ポートの指定 27-19
- 設定時の注意事項 27-18
- 送信トラフィック 27-5
- 送信元ポート 27-6
- 他の機能との相互作用 27-8
- デフォルト設定 27-10
- 特性 27-8
- モニタ側ポート 27-7
- モニタ対象ポート 27-6
- RSTP
 - BPDU
 - 処理 18-14
 - フォーマット 18-13
 - IEEE 802.1D とのインターオペラビリティ
 - 移行プロセスの再起動 18-27
 - 説明 18-9
 - トポロジの変更 18-14
 - MSTP も参照
 - アクティブ トポロジ 18-10
 - 概要 18-10
 - 高速コンバージェンス
 - エッジポートおよび PortFast 18-11
 - 説明 18-11
 - ポイントツーポイントリンク 18-11, 18-26
 - ルートポート 18-11
 - 指定スイッチ、定義 18-10
 - 指定ポート、定義 18-10
 - 提案 / 合意ハンドシェイク プロセス 18-11
 - ポートの役割
 - 説明 18-10
 - 同期化 18-12
 - ルートポート、定義 18-10
- S
 - SC (スタンバイ クラスタ コマンド スイッチ) 5-10
 - SDM
 - 説明 7-1
 - テンプレート
 - 数 7-2
 - 設定 7-5
 - SDM テンプレート
 - 設定 7-5
 - 設定時の注意事項 7-5
 - タイプ 7-2
 - デュアル IPv4/IPv6 7-3
 - Secure Shell
 - SSH を参照
 - Secure Socket Layer
 - SSL も参照
 - set-request 動作 30-5
 - SFP
 - ステータスのモニタ 10-30, 42-17
 - ステータス、表示 42-17
 - セキュリティおよび ID 42-16
 - Shaped Round Robin
 - SRR を参照
 - show access-lists hardware counters コマンド 31-24
 - show cdp traffic コマンド 25-6
 - show cluster members コマンド 5-16
 - show configuration コマンド 10-25
 - show forward コマンド 42-27
 - show interfaces コマンド 10-19, 10-25
 - show l2protocol コマンド 16-15, 16-17, 16-18
 - show platform forward コマンド 42-27
 - show running-config コマンド
 - ACL の表示 31-21, 31-22, 31-35, 31-38
 - インターフェイスの記述の追加 10-25
 - show および more コマンド出力のフィルタリング 2-12
 - Simple Network Management Protocol
 - SNMP を参照
 - SmartPort マクロ
 - Web サイト 11-2
 - グローバルパラメータ値の適用 11-5, 11-7
 - 作成 11-4
 - シスコのデフォルト マクロ 11-7
 - 設定時の注意事項 11-3
 - 定義 11-2
 - デフォルト設定 11-3
 - トレース 11-3
 - パラメータ値の適用 11-6, 11-7
 - 表示 11-8
 - マクロの適用 11-5
 - SNAP 25-2

SNMP

- ifIndex 値 30-6
- MIB
 - 位置 A-4
 - サポート A-1
- MIB 変数のアクセス 30-5
- NMS に送信される Syslog メッセージの制限 29-11
- TFTP サーバによるアクセスの制限 30-17
- エージェント
 - 説明 30-4
 - ディセーブル化 30-8
- エンジン ID 30-8
- 概要 30-2, 30-5
- クラスタ 5-14
- クラスタの管理 5-17
- グループ 30-7, 30-10
- コミュニティ ストリング
 - 概要 30-4
 - クラスタ スイッチ 30-4
 - 設定 30-8
- サポート対象のバージョン 30-2
- システム コンタクトおよびロケーション 30-16
- 情報
 - traps キーワード 30-12
 - イネーブル化 30-16
 - 説明 30-5
 - ディセーブル化 30-16
 - トラップとの相違 30-6
- ステータス、表示 30-19
- セキュリティ レベル 30-3
- 設定例 30-17
- 帯域内管理 1-6
- 通知 30-5
- デフォルト設定 30-7
- トラップ
 - MAC アドレス通知のイネーブル化 6-23
 - イネーブル化 30-12
 - 概要 30-2, 30-5
 - 情報との相違 30-6
 - 説明 30-4, 30-5
 - タイプ 30-12
 - ディセーブル化 30-16
 - トラップ マネージャ、設定 30-14
- 認証レベル 30-11
- ホスト 30-7

マネージャ機能 1-5, 30-4

ユーザ 30-7, 30-10

SNMPv1 30-3

SNMPv2C 30-3

SNMPv3 30-3

SPAN

VLAN ベース 27-6

宛先ポート 27-7

概要 1-11, 27-2

受信トラフィック 27-5

ステータスの表示 27-25

セッション

SPAN 送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 27-16

宛先ポートの削除 27-13

作成 27-11

着信トラフィックのイネーブル化 27-14

定義 27-3

入力転送の設定 27-15, 27-23

モニタ対象ポートの指定 27-11

設定時の注意事項 27-10

送信トラフィック 27-5

送信元ポート 27-6

他の機能との相互作用 27-8

デフォルト設定 27-10

ポート、制約 24-12

モニタ側ポート 27-7

モニタ対象ポート 27-6

SPAN トラフィック 27-5

SRR

共有モード 32-14

サポート 1-10

シェーピング モード 32-14

設定

出力キューでのシェーピング重み 32-78

出力キューの共有重み 32-79

入力キューの共有重み 32-71

説明 32-14

SSH

暗号化ソフトウェア イメージ 8-42

暗号化方式 8-42

設定 8-43

説明 1-6, 8-42

ユーザ認証方式、サポートされている 8-42

SSL

暗号化ソフトウェア イメージ 8-47

- セキュア HTTP クライアントの設定 8-52
- セキュア HTTP サーバの設定 8-51
- 設定時の注意事項 8-50
- 説明 8-47
- モニタ 8-53
- SSL による HTTP
 - HTTPS を参照
- standby ip コマンド 38-6
- STP
 - BackboneFast
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-6
 - ディセーブル化 19-15
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 19-12
 - 説明 19-3
 - ディセーブル化 19-12
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 19-13
 - 説明 19-3
 - ディセーブル化 19-13
 - BPDU メッセージ交換 17-3
 - EtherChannel ガード
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-8
 - ディセーブル化 19-15
 - IEEE 802.1t および VLAN ID 17-4
 - IEEE 802.1D およびブリッジ ID 17-4
 - IEEE 802.1D およびマルチキャスト アドレス 17-9
 - IEEE 802.1Q トランクに関する制限事項 17-11
 - PortFast
 - イネーブル化 19-10
 - 説明 19-2
 - PortFast 対応ポートのシャットダウン 19-3
 - UplinkFast
 - イネーブル化 19-14
 - 説明 19-4
 - VLAN ブリッジ 17-11
 - インターフェイス ステート
 - 概要 17-5
 - ディセーブル 17-7
 - フォワーディング 17-6, 17-7
 - ブロッキング 17-6
 - ラーニング 17-7
 - リスニング 17-6
 - インターフェイス ステート、ブロッキングからフォワーディング 19-2
 - オプション機能のデフォルト設定 19-10
 - 下位 BPDU 17-4
 - 概要 17-2
 - カウンタ、クリア 17-24
 - 拡張システム ID
 - 異常動作 17-16
 - 概要 17-4
 - セカンダリ ルート スイッチへの影響 17-17
 - ルート スイッチへの影響 17-15
 - 間接リンク障害の検出 19-6
 - キープアライブ メッセージ 17-3
 - サポートされている機能 1-6
 - サポートされるインスタンス 17-10
 - サポートされるオプション機能 1-6
 - サポートされるプロトコル 17-9
 - サポートされるモード 17-9
 - 指定スイッチ、定義 17-4
 - 指定ポート、定義 17-4
 - 冗長接続 17-8
 - ステータスの表示 17-24
 - 設定
 - Hello タイム 17-21
 - 最大エージング タイム 17-22
 - スイッチ プライオリティ 17-20
 - スパニングツリー モード 17-14
 - セカンダリ ルート スイッチ 17-17
 - 転送遅延時間 17-22
 - 転送保留カウンタ 17-23
 - パス コスト 17-19
 - ポート プライオリティ 17-18
 - ルート スイッチ 17-15
 - 設定時の注意事項 17-13, 19-10
 - タイマー、説明 17-21
 - ディセーブル化 17-15
 - デフォルト設定 17-12
 - パス コスト 12-31
 - 負荷分散
 - 概要 12-28
 - パス コストの使用 12-31
 - ポート プライオリティの使用 12-29
 - ポート プライオリティ 12-29
 - マルチキャスト アドレス、作用 17-9
 - モード間のインターオペラビリティと下位互換性 17-10
 - 優位 BPDU 17-3

- ルータガード
 - イネーブル化 19-16
 - 説明 19-8
 - ルータスイッチ
 - 異常動作 17-16
 - 拡張システム ID の影響 17-4, 17-15
 - 設定 17-15
 - 選定 17-4
 - ルータスイッチとしての選択防止 19-8
 - ルータポート選択の高速化 19-4
 - ルータポート、定義 17-4
 - ループガード
 - イネーブル化 19-17
 - 説明 19-9
 - レイヤ2プロトコルトンネリング 16-9
 - SunNet Manager 1-5
 - SVI
 - IPユニキャストルーティング 34-4
 - VLAN間のルーティング 12-3
 - VLANの接続 10-9
 - 定義 10-5
 - ルータACL 31-5
 - Switch Database Management
 - SDMを参照
 - Switched Port Analyzer
 - SPANを参照
 - switchport block multicast コマンド 24-7
 - switchport block unicast コマンド 24-7
 - switchport mode dot1q-tunnel コマンド 16-8
 - switchport protected コマンド 24-6
 - switchport コマンド 10-16
 - Syslog
 - システムメッセージロギングを参照
- T**
- TACACS+
 - アカウントティング、定義 8-13
 - 概要 8-12
 - 許可、定義 8-13
 - クラスタ 5-15
 - サーバの識別 8-15
 - サポート 1-9
 - 設定
 - アカウントティング 8-19
 - 許可 8-18
 - 認証鍵 8-15
 - ログイン認証 8-16
 - 設定の表示 8-19
 - デフォルト設定 8-15
 - 動作 8-14
 - 認証、定義 8-13
 - ユーザがアクセスしたサービスの追跡 8-19
 - ユーザへのサービスの制限 8-18
- tar** ファイル
- イメージファイル形式 B-22
 - 作成 B-6
 - 抽出 B-8
 - 内容表示 B-7
- TDR** 1-11
- Telnet**
- 管理インターフェ이스のアクセス 2-13
 - 接続数 1-6
 - パスワードの設定 8-7
- Terminal Access Controller Access Control System Plus**
TACACS+を参照
- TFTP**
- イメージファイル
 - アップロード B-25
 - 削除 B-25
 - 準備、サーバ B-23
 - ダウンロード B-24
 - コンフィギュレーションファイル
 - アップロード B-12
 - 準備、サーバ B-11
 - ダウンロード B-12
 - サーバによるアクセスの制限 30-17
 - 自動設定の場合 3-6
 - ベースディレクトリのコンフィギュレーションファイル 3-6
- TFTP** サーバ 1-5
- Time Domain Reflector**
TDRを参照
- time-range** コマンド 31-18
- ToS** 1-9
- traceroute** コマンド 42-22
IP tracerouteも参照
- traceroute**、レイヤ2
- 1ポートに複数のデバイス 42-21
 - ARP 42-20
 - CDP 42-20
 - IPアドレスおよびサブネット 42-20

- MAC アドレスと VLAN 42-20
 - 使用時の注意事項 42-20
 - 説明 42-20
 - ブロードキャストトラフィック 42-20
 - マルチキャストトラフィック 42-20
 - ユニキャストトラフィック 42-20
- U
- UDLD
 - イネーブル化
 - インターフェイス単位 26-6
 - グローバル 26-5
 - インターフェイスのリセット 26-7
 - エコーによる検出メカニズム 26-3
 - 概要 26-2
 - サポート 1-6
 - ステータス、表示 26-8
 - 設定時の注意事項 26-5
 - ディセーブル化
 - インターフェイス単位 26-6
 - グローバル 26-6
 - 光ファイバインターフェイス 26-6
 - デフォルト設定 26-5
 - ネイバデータベース 26-3
 - リンク検出メカニズム 26-2
 - レイヤ2プロトコルトネリング 16-12
- UDLD によってディセーブルにされたインターフェイスのリセット 26-7
- UDP、設定 34-16
- UniDirectional Link Detection プロトコル
 - UDLD を参照
- UNIX Syslog サーバ
 - サポートされているファシリティ 29-13
 - デーモンの設定 29-12
 - メッセージロギングの設定 29-12
- UplinkFast
 - イネーブル化 19-14
 - サポート 1-6
 - 説明 19-4
 - ディセーブル化 19-14
- User Datagram Protocol
 - UDP を参照
- V
- VLAN
 - config-vlan モードでの作成 12-10
 - ID 1006 ~ 4094 の設定 12-15
 - RSPAN による送信元トラフィックの制限 27-24
 - SPAN による送信元トラフィックの制限 27-16
 - STP および IEEE 802.1Q トランク 17-11
 - SVI による接続 10-9
 - VLAN コンフィギュレーション モードでの作成 12-11
 - VLAN データベースへの追加 12-10
 - VLAN ブリッジ STP 17-11, 41-2
 - VTP モード 13-3
 - 拡張範囲 12-1, 12-15
 - 機能 1-7
 - サービスプロバイダー ネットワーク内のカスタマー番号 16-3
 - 削除 12-12
 - サポート 12-3
 - サポートされる数 1-7
 - 図 12-2
 - スタティック アクセス ポート 12-13
 - スパンニングツリー インスタンス 12-3, 12-8, 12-16
 - 設定 12-1
 - 設定オプション 12-8
 - 設定時の注意事項、拡張範囲 VLAN 12-15
 - 設定時の注意事項、標準範囲 VLAN 12-7
 - 説明 10-2, 12-2
 - 相互間トラフィック 12-3
 - ダイナミック アドレスのエージング タイム 17-9
 - 追加 12-10
 - デフォルト設定 12-9
 - トークンリング 12-7
 - トランクでの許可 VLAN 12-25
 - 内部 12-16
 - ネイティブ、設定 12-28
 - パラメータ 12-6
 - 表示 12-19
 - 標準範囲 12-1, 12-6
 - 変更 12-10
 - ポート メンバーシップ モード 12-3
 - マルチキャスト 23-19
 - VLAN 1 最小化 12-26
 - VLAN 1、トランク ポートでのディセーブル化 12-26

- VLAN ACL
 - VLAN マップを参照
- vlan database コマンド 12-8
- vlan dot1q tag native コマンド 16-6
- VLAN ID、検出 6-29
- VLAN Query Protocol
 - VQP を参照
- VLAN Trunking Protocol
 - VTP を参照
- VLAN 管理ドメイン 13-2
- VLAN 間ルーティング 1-10, 34-2
- vlan グローバル コンフィギュレーション コマンド 12-8
- VLAN コンフィギュレーション モード 2-3, 12-8
- VLAN 設定
 - 起動時 12-9
 - 保存 12-9
- VLAN データベース
 - VLAN 設定、保存 12-9
 - VTP 13-1
 - 格納された VLAN 12-6
 - スタートアップ コンフィギュレーション ファイル 12-9
- VLAN トランク 12-20
- VLAN の削除 12-12
- VLAN フィルタリング、SPAN 27-7
- VLAN マップ
 - ACL および VLAN マップの例 31-36
 - 一般的な使用法 31-38
 - サーバへのアクセス拒否 31-40
 - 削除 31-38
 - 作成 31-35
 - サポート 1-8
 - 設定 31-33
 - 設定時の注意事項 31-34
 - 定義 31-3
 - 適用 31-37
 - 配線クローゼットの設定例 31-38
 - パケットの拒否および許可 31-35
 - 表示 31-45
- VLAN マップ エントリ、順序 31-34
- VLAN マネジメント ポリシー サーバ
 - VMPS を参照
- VLAN メンバーシップ
 - 確認 12-37
 - モード 12-4
- VLAN 割り当て応答、VMPS 12-33
- vlan.dat ファイル 12-6
- VMPS
 - MAC アドレスと VLAN のマッピング 12-33
 - 管理 12-38
 - サーバアドレスの入力 12-35
 - 再確認インターバル、変更 12-37
 - 再試行回数、変更 12-37
 - 設定時の注意事項 12-34
 - 設定例 12-38
 - 説明 12-33
 - ダイナミック ポート メンバーシップ
 - 再確認 12-37
 - 説明 12-34
 - トラブルシューティング 12-38
 - デフォルト設定 12-34
 - メンバーシップの再確認 12-37
 - モニタ 12-38
- Voice over IP 15-2
- VPN
 - サービス プロバイダーのネットワーク内 34-67
 - フォワーディング 34-69
 - ルーティングの設定 34-71
 - ルート 34-68
- VQP 1-7, 12-33
- VRF
 - 定義 34-69
 - テーブル 34-67
- VRF テーブル
 - VRF を参照
- VTP
 - アドバタイズ 12-23, 13-4
 - 拡張範囲 VLAN 13-2
 - クライアント モード、設定 13-12
 - コンフィギュレーション リビジョン番号
 - 注意事項 13-16
 - リセット 13-17
 - コンフィギュレーション モード オプション 13-8
 - サーバ モード、設定 13-11
 - サポート 1-7
 - 使用方法 13-2
 - 整合性検査 13-5
 - 設定
 - VLAN コンフィギュレーション モード 13-9
 - イネーブル EXEC モード 13-8
 - クライアント モード 13-12

- グローバル コンフィギュレーション モード
 - 13-8
 - サーバ モード 13-11
 - 注意事項 13-9
 - トランスペアレント モード 13-13
 - 保存 13-9
 - 要件 13-10
 - 設定要件 13-10
 - 説明 13-2
 - ディセーブル化 13-13
 - デフォルト設定 13-8
 - 統計 13-18
 - トークンリング サポート 13-5
 - ドメイン 13-2
 - ドメインへのクライアントの追加 13-16
 - ドメイン名 13-9
 - トランスペアレント モード、設定 13-13
 - バージョン 1 13-5
 - バージョン 2
 - イネーブル化 13-14
 - 概要 13-5
 - 設定時の注意事項 13-10
 - ディセーブル化 13-15
 - バージョン、注意事項 13-10
 - パスワード 13-10
 - 標準範囲 VLAN 13-2
 - プルーニング
 - イネーブル化 13-15
 - 概要 13-5
 - サポート 1-7
 - ディセーブル化 13-16
 - 例 13-6
 - プルーニング適格リスト、変更 12-27
 - モード
 - クライアント 13-3, 13-12
 - サーバ 13-3, 13-11
 - トランスペアレント 13-4, 13-13
 - 変更 13-3
 - モニタ 13-18
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-9
 - VTP バージョン 2 における整合性検査 13-5
- W**
- Weighted Tail Drop
 - WTD を参照
- WTD**
- サポート 1-9, 1-10
 - スレッシュホールドの設定
 - 出力キューセット 32-74
 - 入力キュー 32-69
 - 説明 32-13
- X**
- XMODEM プロトコル 42-2
- あ**
- アカウントینگ
 - IEEE 802.1x 9-8, 9-30
 - RADIUS 8-30
 - TACACS+ 8-13, 8-19
 - アクセス
 - テンプレート 7-2
 - アクセス グループ
 - インターフェイスへの IPv4 ACL の適用 31-22
 - レイヤ 2 31-22
 - レイヤ 3 31-23
 - アクセス テンプレート 7-2
 - アクセス ポート
 - スイッチ クラスタ 5-9
 - 定義 10-3
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-12
 - アクセス リスト
 - ACL を参照
 - アクセス拒否応答、VMPS 12-33
 - アクセス制御エントリ
 - ACE を参照
 - アクセスの制限
 - NTP サービス 6-9
 - RADIUS 8-20
 - TACACS+ 8-12
 - 概要 8-2
 - パスワードおよび権限レベル 8-3
 - アクセス不能認証バイパス 9-14
 - アクセス方法
 - クラスタ、スイッチ 5-13
 - コマンド スイッチ 5-11
 - スイッチ クラスタ 5-13
 - メンバー スイッチ 5-13
 - アクティブ リンク 20-2

- アクティブ ルータ 38-2
- アップグレード情報
 - リリース ノートを参照
- アップロード
 - イメージファイル
 - FTP の使用 B-30
 - RCP の使用 B-34
 - TFTP の使用 B-25
 - 準備 B-23, B-27, B-31
 - 目的 B-21
 - コンフィギュレーション ファイル
 - FTP の使用 B-15
 - RCP の使用 B-19
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
- 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 33-7
- 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 33-7
- 宛先アドレス
 - IPv6 ACL 内 37-5
- 宛先アドレス、IPv4 ACL 31-12
- アドバタイズ
 - CDP 25-2
 - RIP 34-21
 - VTP 12-23, 13-3, 13-4
- アトリビュート、RADIUS
 - ベンダー固有 8-31
 - ベンダー独自仕様 8-33
- アドレス
 - MAC アドレス テーブルの表示 6-27
 - MAC、検出 6-29
 - スタティック
 - 追加および削除 6-25
 - 定義 6-21
 - ダイナミック
 - エージング タイムの短縮 17-9
 - エージング タイムの変更 6-22
 - 削除 6-23
 - 定義 6-21
 - デフォルトのエージング タイム 17-9
 - ラーニング 6-21
 - マルチキャスト
 - STP アドレス管理 17-9
 - グループアドレスの範囲 39-3
- アドレス エイリアス 23-2
- アドレス解決 6-29, 34-9
- アベイラビリティ、機能 1-6
- アラーム、RMON 28-3
- 暗号化ソフトウェア イメージ
 - Kerberos 8-35
 - SSH 8-42
 - SSL 8-47
- 安全なリモート接続 8-42
- い
- イーサネット VLAN
 - 追加 12-10
 - デフォルトおよび範囲 12-9
 - 変更 12-10
- 一時的な自己署名証明書 8-48
- イネーブル EXEC モード 2-2
- イネーブル シークレット パスワード 8-4
- イネーブル パスワード 8-4
- イベント、RMON 28-3
- インターフェイス
 - Auto-MDIX、設定 10-20
 - IPv4 と IPv6 の設定 35-13
 - カウンタ、クリア 10-31
 - 管理 1-5
 - 記述 10-25
 - 記述、追加 10-25
 - 再起動 10-31
 - サポート 10-11
 - シャットダウン 10-31
 - 情報の表示 10-30
 - ステータス 10-30
 - 設定
 - 手順 10-11
 - 設定時の注意事項
 - 速度およびデュプレックス 10-17
 - 説明 10-25
 - 速度およびデュプレックス、設定 10-18
 - タイプ 10-2
 - デフォルト設定 10-16
 - 範囲 10-12
 - 番号 10-11
 - 物理的な識別 10-11
 - フロー制御 10-19
 - モニタ 10-30
 - レンジ マクロ 10-14

インターフェイス コンフィギュレーション モード
2-3

インターフェイス タイプ 10-11

インターフェイスでの shutdown コマンド 10-31

インターフェイスのクリア 10-31

う

ウィザード 1-3

え

永続的な自己署名証明書 8-48

エージング タイム

MAC アドレス テーブル 6-22

最大

MSTP 用 18-25, 18-26

STP 17-22, 17-23

短縮

MSTP 用 18-25

STP 17-9, 17-22

エージング タイム、短縮 17-9

エラー メッセージ、コマンド入力時 2-6

お

オプション、管理 1-5

音声 VLAN

Cisco 7960 IP Phone、ポート接続 15-2

IP Phone の音声トラフィック、説明 15-2

IP Phone のデータトラフィック、説明 15-3

IP Phone への接続 15-5

音声トラフィック用のポート設定

802.1p プライオリティ タグ付きフレーム
15-6

802.1Q フレーム 15-6

設定時の注意事項 15-4

説明 15-2

データトラフィック用の IP Phone の設定

着信フレームの CoS の変更 15-7

着信フレームの CoS プライオリティを信頼
15-7

デフォルト設定 15-4

表示 15-8

か

階層型のポリシー マップ 32-8

設定 32-53

設定時の注意事項 32-34

説明 32-11

ガイドモード 1-3

外部 VLAN

音声 VLAN を参照

回復手順 42-1

外部ネイバ、BGP 34-49

カウンタのクリア、インターフェイス 10-31

拡張 IP サービス イメージ 35-1

拡張システム ID

MSTP 18-19

STP 17-4, 17-15

拡張範囲 VLAN

作成 12-16

設定 12-15

設定時の注意事項 12-15

定義 12-1

内部 VLAN ID による作成 12-17

仮想 IP アドレス

クラスタ スタンバイ グループ 5-11

コマンド スイッチ 5-11

仮想私設網

VPN を参照

仮想ルータ 38-2, 38-3

環境変数、機能 3-16

間接リンク障害の検出、STP 19-6

管理 VLAN

異なる管理 VLAN からの検出 5-8

スイッチ クラスタの考慮事項 5-8

管理アクセス

帯域外コンソール ポート接続 1-6

帯域内

CLI セッション 1-6

SNMP 1-6

デバイス マネージャ 1-6

ブラウザ セッション 1-6

管理オプション

CLI 2-1

CNS 4-2

Network Assistant 1-3

概要 1-5

クラスタ 1-3

- 管理距離
 - OSPF 34-33
 - 定義 34-91
 - ルーティングプロトコルのデフォルト 34-81
- 管理の簡易性に関する機能 1-5
- 関連資料 xliii

- き
- キープアライブメッセージ 17-3
- 起動
 - 起動プロセス 3-2
 - 手動 3-14
 - 特定のイメージ 3-15
 - ブートローダ、機能 3-2
- 機能、互換 24-12
- 逆アドレス解決 34-9
- 許可
 - RADIUS 8-29
 - TACACS+ 8-13, 8-18
- 許可 VLAN リスト 12-25
- 許可ポート、IEEE 802.1x 9-7
- 近接ディスカバリおよび回復、EIGRP 34-37
- 近接ディスカバリ、IPv6 35-4

- く
- クエリー送信要求、IGMP 23-13
- クエリー、IGMP 23-4
- クライアントモード、VTP 13-3
- クラスマップ、QoS
 - 設定 32-47
 - 説明 32-7
 - 表示 32-82
- クラススタスタンバイグループ
 - HSRP グループ 38-12
 - HSRP も参照
 - 仮想 IP アドレス 5-11
 - 考慮事項 5-11
 - 自動復旧 5-13
 - 定義 5-2
 - 要件 5-3
- クラススタおよび HSRP グループのバインド 38-12
- クラススタ要件 xliii
- クラススタ、スイッチ
 - LRE プロファイルの考慮事項 5-15
 - アクセス方法 5-13
 - 管理
 - CLI の使用 5-16
 - SNMP の使用 5-17
 - 機能 1-3
 - 候補スイッチ、コマンドスイッチ、クラススタスタンバイグループ、メンバースイッチ、およびスタンバイコマンドスイッチも参照
 - 互換 5-5
 - 自動検出 5-5
 - 自動復旧 5-10
 - 説明 5-1
 - プランニング 5-5
 - プランニングの考慮事項
 - CLI 5-16
 - IP アドレス 5-13
 - LRE プロファイル 5-15
 - RADIUS 5-15
 - SNMP 5-14, 5-17
 - TACACS+ 5-15
 - 自動検出 5-5
 - 自動復旧 5-10
 - パスワード 5-14
 - ホスト名 5-14
 - クラスレスルーティング 34-7
 - クリティカル認証、IEEE 802.1x 9-34
 - グローバル Leave、IGMP 23-13
 - グローバルコンフィギュレーションモード 2-2
 - クロック
 - システムクロックを参照

- け
- ケーブル、単一方向リンクのモニタ 26-2
- ゲスト VLAN と IEEE 802.1x 9-12
- 権限レベル
 - 回線に対するデフォルトの変更 8-10
 - 概要 8-3, 8-9
 - コマンドスイッチ 5-16
 - コマンドの設定 8-9
 - 終了 8-11
 - メンバースイッチとの対応 5-16
 - ログイン 8-11
- 検出、クラススタ
 - 自動検出を参照

- こ
- 構成例、ネットワーク 1-15
 - 高速コンバージェンス 18-11
 - 候補スイッチ
 - コマンドスイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、およびメンバー スイッチも参照
 - 自動検出 5-5
 - 定義 5-3
 - 要件 5-3
 - 互換、機能 24-12
 - コマンド
 - no および default 2-5
 - 省略 2-5
 - コマンド スイッチ
 - アクセス方法 5-11
 - アクティブ (AC) 5-10
 - 回復
 - コマンド スイッチの障害 5-10, 42-9
 - メンバー スイッチとの接続 42-14
 - 交換
 - クラスタ メンバー 42-9
 - 他のスイッチ 42-11
 - 候補スイッチ、コマンド スイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、およびメンバー スイッチも参照
 - 冗長 5-10
 - スタンバイ (SC) 5-10
 - 設定の矛盾 42-14
 - 定義 5-2
 - パスワード権限レベル 5-16
 - パッシブ (PC) 5-10
 - プライオリティ 5-10
 - 要件 5-3
 - コマンド モード 2-2
 - コマンドの権限レベルの設定 8-9
 - コマンドの省略 2-5
 - コマンドライン インターフェイス
 - CLI を参照
 - コミュニティ VLAN 14-2, 14-3
 - コミュニティ ストリング
 - SNMP 5-14
 - 概要 30-4
 - クラスタ 5-14
 - クラスタ スイッチ 30-4
 - 設定 5-14, 30-8
 - コミュニティ ポート 14-3
 - コミュニティ リスト、BGP 34-59
 - 混合ポート
 - 設定 14-13
 - 定義 14-3
 - コンソール ポート、接続 2-13
 - コンフィギュレーション ファイル
 - DHCP による入手 3-8
 - TFTP サーバ アクセスの制限 30-17
 - アップロード
 - FTP の使用 B-15
 - RCP の使用 B-19
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - 格納されたコンフィギュレーションの削除 B-20
 - コピー時の無効な組み合わせ B-5
 - 作成および使用上の注意事項 B-9
 - システム コンタクトおよびロケーション 30-16
 - スタートアップ コンフィギュレーションの消去 B-20
 - 説明 B-9
 - タイプおよび場所 B-10
 - ダウンロード
 - FTP の使用 B-14
 - RCP の使用 B-18
 - TFTP の使用 B-12
 - 自動 3-13
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - テキスト エディタによる作成 B-10
 - デフォルトの名前 3-13
 - パスワード回復をディセーブルにする場合の考慮事項 8-6
 - ファイル名の指定 3-13
 - コンフィギュレーション ロギング 2-6
- さ
- サーバ モード、VTP 13-3
 - サービス クラス
 - CoS を参照
 - サービス タイプ
 - ToS を参照
 - サービス プロバイダー ネットワーク、MSTP および RSTP 18-1

- サービス品質
 - QoS を参照
 - サービスプロバイダー ネットワーク
 - EtherChannel のレイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-10
 - IEEE 802.1Q トンネリング 16-2
 - カスタマー VLAN 16-3
 - サービスプロバイダー ネットワークをまたがるレイヤ 2 プロトコル 16-9
 - 再確認インターバル、VMPS、変更 12-37
 - 再試行回数、VMPS、変更 12-37
 - 最大エイジング タイム
 - MSTP 18-25
 - STP 17-22
 - 最大ホップ カウント、MSTP 18-26
 - サブドメイン、プライベート VLAN 14-2
 - サブネット ゼロ 34-7
 - サブネット マスク 34-6
- し
- 時間範囲、ACL 31-18
 - 時刻
 - NTP およびシステム クロックを参照
 - シスコ インテリジェント電力管理 10-7
 - システム MTU および IEEE 802.1Q トンネリング 16-6
 - システム クロック
 - NTP も参照
 - 概要 6-2
 - 設定
 - 手動 6-12
 - タイム ゾーン 6-13
 - 夏時間 6-14
 - 日時の表示 6-13
 - システム プロンプト、デフォルト設定 6-16
 - システム メッセージ ロギング
 - level キーワード、説明 29-10
 - Syslog 機能 1-11
 - UNIX Syslog サーバ
 - サポートされているファシリティ 29-13
 - デーモンの設定 29-12
 - ロギング ファシリティの設定 29-12
 - イネーブル化 29-5
 - エラー メッセージの重大度の定義 29-9
 - 概要 29-2
 - シーケンス番号、イネーブル化およびディセーブル化 29-9
 - 設定の表示 29-14
 - タイム スタンプ、イネーブル化およびディセーブル化 29-8
 - ディセーブル化 29-4
 - デフォルト設定 29-4
 - 表示宛先デバイスの設定 29-5
 - ファシリティ キーワード、説明 29-13
 - メッセージフォーマット 29-3
 - メッセージの制限 29-11
 - ログ メッセージの同期化 29-7
 - システム リソースの最適化 7-2
 - システム名
 - DNS も参照
 - 手動設定 6-16
 - デフォルト設定 6-16
 - 実行コンフィギュレーション、保存 3-12
 - 自動 QoS
 - QoS を参照
 - 自動 RP、検出 39-5
 - 自動検出
 - CDP も参照
 - 考慮事項
 - CDP 非対応デバイス 5-6
 - 新しいスイッチ 5-9
 - 管理 VLAN 5-8
 - クラスタ非対応デバイス 5-6
 - 異なる VLAN 5-7
 - 接続性 5-5
 - 非候補デバイスより先 5-8
 - ルーテッドポート 5-9
 - スイッチ クラスタ 5-5
 - 自動検知、ポート速度 1-4
 - 自動設定 3-4
 - 自動ネゴシエーション
 - インターフェイス設定時の注意事項 10-18
 - デュプレックス モード 1-4
 - 不一致 42-14
 - 自動復旧、クラスタ 5-10
 - HSRP も参照
 - 重大度、システム メッセージの定義 29-9
 - 集約アドレス、BGP 34-62
 - 集約可能なグローバル ユニキャスト アドレス 35-3
 - 集約ポート
 - EtherChannel を参照
 - 集約ポリサー 32-60

- 集約ポリシング 1-9
- 照合
 - IPv6 ACL 37-3
- 照合、IPv4 ACL 31-8
- 冗長性
 - EtherChannel 33-3
 - HSRP 38-2
 - STP
 - パス コスト 12-31
 - バックボーン 17-8
 - ポート プライオリティ 12-29
- 冗長リンクおよび UplinkFast 19-14
- 初期設定
 - Express Setup 1-3
 - 『*Getting Started Guide*』およびハードウェア インストール ション ガイドも参照
 - デフォルト値 1-12
- 侵入検知システム
 - IDS 装置を参照
- 信頼性のあるタイム ソース、説明 6-2
- 信頼できるトランスポート プロトコル、EIGRP 34-37

- す
- スイッチ ソフトウェアの機能 1-2
- スイッチ プライオリティ
 - MSTP 18-23
 - STP 17-20
- スイッチ ポート 10-3
- スイッチ仮想インターフェイス
 - SVI を参照
- スイッチ間リンク
 - ISL を参照
- スイッチド パケット、ACL 上 31-42
- スイッチのクラスタ化テクノロジー 5-1
 - クラスタ、スイッチも参照
- スイッチのコンソール ポート 1-6
- スーパーネット 34-7
- スタートアップ コンフィギュレーション
 - 起動
 - 手動 3-14
 - 特定のイメージ 3-15
 - 起動のデフォルト設定 3-13
 - コンフィギュレーション ファイル
 - 自動ダウンロード 3-13
 - ファイル名の指定 3-13
 - 消去 B-20
 - スタティック IP ルーティング 1-10
 - スタティック MAC アドレッシング 1-7
 - スタティック VLAN メンバーシップ 12-3
 - スタティック アクセス ポート
 - VLAN への割り当て 12-13
 - 定義 10-3, 12-4
 - スタティック アドレス
 - アドレスを参照
 - スタティック ルーティング 34-3
 - スタティック ルート
 - IPv6 の設定 35-16
 - 設定 34-80
 - スタブ エリア、OSPF 34-31
 - スタブ ルーティング、EIGRP 34-43
 - スタンバイ グループ、クラスタ
 - クラスタ スタンバイ グループと HSRP を参照
 - スタンバイ コマンド スイッチ
 - 仮想 IP アドレス 5-11
 - クラスタ スタンバイ グループと HSRP も参照 5-2
 - 考慮事項 5-11
 - 設定
 - 定義 5-2
 - プライオリティ 5-10
 - 要件 5-3
 - スタンバイ タイマー、HSRP 38-10
 - スタンバイ リンク 20-2
 - スタンバイ ルータ 38-2
 - スティッキー ラーニング 24-10
 - ステートレス自動設定 35-5
 - ストーム制御
 - サポート 1-4
 - スレッシュホールド 24-2
 - 設定 24-3
 - 説明 24-2
 - ディセーブル化 24-5
 - 表示 24-20
 - ストラタム、NTP 6-3
 - スヌーピング、IGMP 23-2
 - スパニングツリー プロトコル
 - STP を参照
 - スパニングツリーおよびネイティブ VLAN 12-23
 - スプリット ホライズン、RIP 34-24
 - スレッシュホールド、トラフィック レベル 24-2

- せ**
- 制限付き VLAN
 - IEEE 802.1x の利用 9-13
 - 設定 9-32
 - 説明 9-13
 - 成功応答、VMPS 12-33
 - セカンダリ VLAN 14-2
 - セキュア HTTP クライアント
 - 設定 8-52
 - 表示 8-53
 - セキュア HTTP サーバ 8-47
 - 設定 8-51
 - 表示 8-53
 - セキュア MAC アドレス
 - 最大数 24-10
 - 削除 24-17
 - タイプ 24-9
 - セキュア ポート、設定 24-9
 - セキュリティ機能 1-7
 - セキュリティ、ポート 24-9
 - 設計例、ネットワーク 1-15
 - 接続障害 42-18, 42-20, 42-22
 - 接続、安全なリモート 8-42
 - 設定時の注意事項、マルチ VRF CE 34-69
 - 設定の矛盾、メンバー スイッチとの接続の回復 42-14
 - 設定、保存 3-12
 - セットアッププログラム
 - 故障したコマンド スイッチの交換 42-9, 42-11
- そ**
- 送信元 IP アドレスベース転送、EtherChannel 33-7
 - 送信元 MAC アドレス転送、EtherChannel 33-7
 - 送信元 / 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 33-8
 - 送信元 / 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 33-7
 - 送信元アドレス
 - IPv6 ACL 内 37-5
 - 送信元のアドレス、IPv4 ACL 31-12
 - 即時脱退、IGMP 23-5
 - イネーブル化 36-10
 - ソフトウェア イメージ
 - tar ファイル形式、説明 B-22
 - 回復手順 42-2
 - ダウンロードおよびアップロードも参照
 - フラッシュ内の場所 B-21
 - リロードのスケジュール設定 3-17
 - ソフトウェア イメージのアップグレード
 - ダウンロードを参照
 - ソフトウェア障害、XMODEM による回復手順 42-2
- た**
- 対象読者 xli
 - ダイナミック ARP 検査
 - ARP ACL と DHCP スヌーピング エントリの相対的なプライオリティ 22-5
 - ARP キャッシュ ポイズニング 22-2
 - ARP スプーフィング攻撃 22-2
 - ARP パケットのレート制限
 - errdisable ステート 22-5
 - 設定 22-11
 - 説明 22-5
 - ARP 要求、説明 22-2
 - DHCP スヌーピング バインディング データベース 22-3
 - DoS 攻撃、回避 22-11
 - man-in-the middle 攻撃、説明 22-2
 - インターフェイス信頼状態 22-3
 - 機能 22-2
 - 消去
 - 統計情報 22-16
 - ログ バッファ 22-16
 - 設定
 - DHCP 環境 22-7
 - 着信 ARP パケットのレート制限 22-5, 22-11
 - 非 DHCP 環境の ACL 22-9
 - ログ バッファ 22-14
 - 設定時の注意事項 22-6
 - 説明 22-2
 - 妥当性チェック、実行 22-12
 - デフォルト設定 22-6
 - 統計情報
 - 消去 22-16
 - 表示 22-16
 - ネットワーク セキュリティ問題とインターフェイス信頼状態 22-3
 - 廃棄されたパケットのロギング、説明 22-5
 - 表示
 - ARP ACL 22-16
 - 信頼状態とレート制限 22-16

- 設定および動作ステート 22-16
 - 統計情報 22-16
 - ログバッファ 22-16
 - レート制限を超過した場合の errdisable ステート 22-5
 - ログバッファ
 - 消去 22-16
 - 設定 22-14
 - 表示 22-16
 - ダイナミック VLAN メンバーシップの再確認 12-37
 - ダイナミックアドレス
 - アドレスを参照
 - ダイナミックポート VLAN メンバーシップ
 - 再確認 12-37
 - 接続のタイプ 12-36
 - 説明 12-34
 - トラブルシューティング 12-38
 - ダイナミックルーティング 34-3
 - ダイナミックアクセスポート
 - 設定 12-36
 - 定義 10-3
 - 特性 12-4
 - タイムゾーン 6-13
 - ダウンロード
 - イメージファイル
 - CMS の使用 1-3
 - FTP の使用 B-28
 - HTTP の使用 1-3, B-21
 - RCP の使用 B-32
 - TFTP の使用 B-24
 - 準備 B-23, B-27, B-31
 - デバイスマネージャまたは Network Assistant を使用 B-21
 - 古いイメージの削除 B-25
 - 目的 B-21
 - コンフィギュレーションファイル
 - FTP の使用 B-14
 - RCP の使用 B-18
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - タグ付きパケット
 - IEEE 802.1Q 16-4
 - レイヤ2プロトコル 16-9
 - 脱退タイマーの設定、IGMP 23-6
 - 端末回線、パスワードの設定 8-7
- ち**
- 注意、説明 xlii
 - 注、説明 xlii
- つ**
- ツイストペアイーサネット、単一方向リンクの検出 26-2
- て**
- ディスタンスベクタプロトコル 34-3
 - ディレクトリ
 - 作業ディレクトリの表示 B-4
 - 作成および削除 B-4
 - 変更 B-4
 - デバイスマネージャ
 - 機能 1-3
 - スイッチのアップグレード B-21
 - 説明 1-3, 1-5
 - 帯域内管理 1-6
 - 要件 xliii
 - デバイス検出プロトコル 25-2
 - デバッグ
 - エラーメッセージ出力のリダイレクト 42-26
 - コマンドの使用 42-25
 - システム全体診断のイネーブル化 42-26
 - 特定機能に関するイネーブル化 42-25
 - デフォルトゲートウェイ 3-11, 34-12
 - デフォルトネットワーク 34-81
 - デフォルトルーティング 34-2
 - デフォルトルート 34-81
 - デフォルト設定
 - BGP 34-47
 - CDP 25-3
 - DHCP 21-9
 - DHCP Option 82 21-9
 - DHCP スヌーピング 21-9
 - DHCP スヌーピング バインディング データベース 21-9
 - DNS 6-17
 - EIGRP 34-38
 - EtherChannel 33-9
 - Flex Link 20-5
 - HSRP 38-5

- IEEE 802.1Q トンネリング 16-5
 - IEEE 802.1x 9-19
 - IGMP 39-29
 - IGMP スヌーピング 23-7, 36-6, 36-7
 - IGMP スロットリング 23-28
 - IGMP フィルタリング 23-28
 - IP アドレス、IP ルーティング 34-5
 - IP ソース ガード 21-18
 - IP マルチキャスト ルーティング 39-9
 - IPv6 35-10
 - MAC アドレス テーブル 6-22
 - MAC アドレス テーブル 移動更新 20-5
 - MSDP 40-4
 - MSTP 18-16
 - MVR 23-22
 - NTP 6-5
 - OSPF 34-28
 - PIM 39-9
 - RADIUS 8-22
 - RIP 34-21
 - RMON 28-3
 - RSPAN 27-10
 - SDM テンプレート 7-5
 - SNMP 30-7
 - SPAN 27-10
 - SSL 8-49
 - STP 17-12
 - TACACS+ 8-15
 - UDLD 26-5
 - VLAN 12-9
 - VLAN、レイヤ 2 イーサネット インターフェイス 12-23
 - VMPS 12-34
 - VTP 13-8
 - イーサネット インターフェイス 10-16
 - オプションの スパニング ツリー 設定 19-10
 - 音声 VLAN 15-4
 - 起動 3-13
 - システム メッセージ ロギング 29-4
 - システム名 および プロンプト 6-16
 - 自動 QoS 32-21
 - 初期 スイッチ 情報 3-3
 - ダイナミック ARP 検査 22-6
 - パスワード および 権限 レベル 8-3
 - バナー 6-19
 - 標準 QoS 32-31
 - フォールバック ブリッジング 41-4
 - プライベート VLAN 14-7
 - マルチ VRF CE 34-69
 - レイヤ 2 インターフェイス 10-16
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-13
 - デュアル IPv4/IPv6 テンプレート 7-3, 35-1, 35-8
 - デュアル プロトコル スタック
 - IPv4 と IPv6 35-8
 - SDM テンプレートの サポート 35-8
 - 設定 35-13
 - 転送 遅延 時間
 - MSTP 18-25
 - STP 17-22
 - 転送 保留 カウント
 - STP を 参照
 - 転送、ユニキャスト 要求 1-5
 - テンプレート、SDM 7-2
- と
- 等価コスト ルーティング 1-10, 34-79
 - 同期化、BGP 34-49
 - 統計
 - CDP 25-6
 - IEEE 802.1x 9-40
 - IP マルチキャスト ルーティング 39-55
 - OSPF 34-35
 - QoS 入出力 32-82
 - RMON イーサネット グループ 28-5
 - RMON グループ ヒストリ 28-4
 - SNMP 入出力 30-19
 - VTP 13-18
 - インターフェイス 10-30
 - トークンリング VLAN
 - VTP サポート 13-5
 - サポート 12-7
 - 独立 VLAN 14-2, 14-3
 - 独立ポート 14-3
 - ドメイン ネーム システム
 - DNS を 参照
 - ドメイン名
 - DNS 6-17
 - VTP 13-9
 - トラップ
 - MAC アドレス 通知 の 設定 6-23
 - イネーブル化 6-23, 30-12

- 概要 30-2, 30-5
- 通知タイプ 30-12
- 定義 30-4
 - マネージャの設定 30-12
- トラップドア メカニズム 3-2
- トラフィック
 - 非分割 31-6
 - フラッディングのブロッキング 24-7
 - 分割 31-6
 - 分割された IPv6 37-2
- トラフィック ポリシング 1-9
- トラフィックの優先処理
 - QoS を参照
- トラフィックの抑制 24-2
- トラブルシューティング
 - CiscoWorks 30-5
 - debug コマンド 42-25
 - PIMv1 および PIMv2 のインターオペラビリティ問題 39-24
 - ping の使用 42-18
 - SFP のセキュリティおよび ID 42-16
 - show platform forward コマンド 42-27
 - traceroute 42-22
 - システム メッセージ ロギング 29-2
 - 障害 (クラッシュ) 情報の表示 42-30
 - 接続障害 42-18, 42-20, 42-22
 - 単一方向リンクの検出 26-1
 - パケット転送の設定 42-27
- トランキング カプセル化 1-7
- トランク
 - DTP をサポートしないデバイス 12-21
 - ISL 12-20
 - 許可 VLAN リスト 12-25
 - 設定 12-24, 12-30, 12-31
 - タグなしトラフィック用のネイティブ VLAN 12-28
 - パラレル 12-31
 - 負荷分散
 - STP パス コストの設定 12-31
 - STP ポート プライオリティの使用 12-29
 - プルーニング適格リスト 12-27
- トランク フェールオーバー
 - リンクステート追跡を参照
- トランク ポート
 - カプセル化 12-24, 12-30, 12-31
 - 設定 12-24
 - 定義 10-4, 12-4
 - トランスペアレント モード、VTP 13-4, 13-13
 - トランスペアレントな DSCP 32-41
 - トンネリング
 - IEEE 802.1Q 16-2
 - 定義 16-1
 - レイヤ 2 プロトコル 16-9
 - トンネル ポート
 - IEEE 802.1Q、設定 16-7
 - 説明 10-4, 16-2
 - 他の機能との非互換性 16-7
 - 定義 12-5
- な
 - 内部ネイバ、BGP 34-49
 - 夏時間 6-14
 - 名前付き IPv4 ACL 31-16
- に
 - 認識不能な Type-Length-Value (TLV) のサポート 13-5
 - 認証
 - EIGRP 34-42
 - HSRP 38-10
 - NTP アソシエーション 6-5
 - RADIUS
 - 鍵 8-23
 - ログイン 8-25
 - TACACS+
 - 鍵 8-15
 - 定義 8-13
 - ログイン 8-16
 - ポートベース認証も参照
 - ローカルモードでの AAA の実装 8-40
 - 認証鍵、ルーティング プロトコル 34-91
 - 認証失敗 VLAN
 - 制限付き VLAN を参照
- ね
 - ネイティブ VLAN
 - IEEE 802.1Q トンネリング 16-5
 - 設定 12-28
 - デフォルト 12-28
 - ネイバ、BGP 34-60

- ネットワーク アドミッション制御
 - NAC を参照
- ネットワーク管理
 - CDP 25-2
 - RMON 28-1
 - SNMP 30-1
- ネットワークの構成例
 - サーバ集約および Linux サーバ クラスタ 1-18
 - 大規模ネットワーク 1-20
 - 中小規模ネットワーク 1-19
 - 長距離広帯域トランスポート 1-22
 - ネットワーク サービスの提供 1-15
 - ネットワーク パフォーマンスの向上 1-15
- ネットワークの設計
 - サービス 1-15
 - パフォーマンス 1-15
- は
- バージョン依存型トランスペアレント モード 13-5
- ハードウェア制限とレイヤ 3 インターフェイス 10-26
- バインディング
 - DHCP スヌーピング データベース 21-7
 - IP ソース ガード 21-17
 - アドレス、Cisco IOS DHCP サーバ 21-7
- バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - アドレス、DHCP サーバ
 - DHCP、Cisco IOS サーバ データベースを参照
- バインディング テーブル、DHCP スヌーピング
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- パケットの変更、QoS 32-20
- パス MTU ディスカバリ 35-4
- パス コスト
 - MSTP 18-22
 - STP 17-19
- パスワード
 - VTP ドメイン 13-10
 - 暗号化 8-4
 - 回復 42-4
 - 回復のディセーブル化 8-6
 - 概要 8-2
- クラスタ 5-14
- セキュリティ用 1-7
- 設定
 - Telnet 8-7
 - イネーブル 8-3
 - イネーブル シークレット 8-4
 - ユーザ名 8-8
 - デフォルト設定 8-3
- パスワードの暗号化 8-4
- バックアップ インターフェイス
 - Flex Link を参照
- バックアップ リンク 20-2
- パッシブ インターフェイス
 - OSPF 34-33
 - 設定 34-89
- バナー
 - 設定
 - MoTD ログイン 6-19
 - ログイン 6-20
 - デフォルト設定 6-19
 - 表示の時期 6-19
 - バナーを使用してユーザにメッセージ 6-19
 - パフォーマンス向上機能 1-4
 - パフォーマンス、ネットワークの設計 1-15
 - パラレルパス、ルーティング テーブル内 34-79
- 範囲
 - インターフェイス 10-12
 - マクロ 10-14
- ひ
- 非 IP トラフィックのフィルタリング 31-30
- ピア、BGP 34-60
- 非階層型ポリシー マップ
 - 設定 32-49
 - 設定時の注意事項 32-34
 - 説明 32-9
- 光ファイバ、単一方向リンクの検出 26-2
- ヒストリ
 - コマンドの呼び出し 2-7
 - 説明 2-7
 - ディセーブル化 2-8
 - バッファ サイズの変更 2-7
- ヒストリ テーブル、Syslog メッセージの重大度および数 29-11
- 非対称リンク、IEEE 802.1Q トンネリング 16-5

- 非トランキング モード 12-21
- 表記法 xlii
 - コマンド xlii
 - 書体 xlii
 - マニュアル xlii
 - 例 xlii
- 標準範囲 VLAN 12-6
 - コンフィギュレーション モード 12-8
 - 設定 12-6
 - 設定時の注意事項 12-7
 - 定義 12-1
- ふ
- ファイル
 - crashinfo
 - 説明 42-30
 - tar
 - イメージファイル形式 B-22
 - 作成 B-6
 - 抽出 B-8
 - 内容表示 B-7
 - 拡張 crashinfo
 - 説明 42-30
 - 保存場所 42-30
 - 基本 crashinfo
 - 説明 42-30
 - 保存場所 42-30
 - コピー B-5
 - 削除 B-6
 - 内容表示 B-8
- ファイル システム
 - 使用可能なファイル システムの表示 B-2
 - デフォルトの設定 B-3
 - ネットワーク ファイル システム名 B-5
 - ファイル情報の表示 B-3
 - ローカル ファイル システム名 B-2
- 不一致、自動ネゴシエーション 42-14
- フィルタリング
 - IPv6 トラフィック 37-4, 37-8
 - show および more コマンドの出力 2-12
 - VLAN 内 31-33
 - 非 IP トラフィック 31-30
- フィルタリング、show および more コマンド出力 2-12
- フィルタ、IP
 - ACL、IP を参照
 - ブートストラップ ルータ (BSR)、説明 39-5
 - ブート ロード
 - アクセス方法 3-15
 - 環境変数 3-15
 - 説明 3-2
 - トラップド ア メカニズム 3-2
 - プロンプト 3-15
 - フォールバック ブリッジング
 - STP
 - hello BPDU インターバル 41-9
 - VLAN ブリッジ STP 41-2
 - VLAN ブリッジ スパニング ツリー プライオリティ 41-6
 - インターフェイス プライオリティ 41-7
 - インターフェイス で ディセーブル 41-10
 - キープ ア ライブ メッセージ 17-3
 - 最大 アイドル 時間 41-10
 - 転送 遅延 時間 41-9
 - バス コスト 41-8
 - SVI および ルーテッド ポート 41-2
 - VLAN ブリッジ STP 17-11
 - インターフェイス の 接続 10-10
 - 概要 41-2
 - サポート 1-10
 - 設定 時の 注意事項 41-4
 - 説明 41-2
 - デフォルト 設定 41-4
 - ブリッジ グループ
 - 機能 41-2
 - 削除 41-6
 - 作成 41-5
 - サポート される 数 41-5
 - 説明 41-2
 - 表示 41-11
 - ブリッジ テーブル
 - 消去 41-11
 - 表示 41-11
 - フレーム 転送
 - パケット の 転送 41-2
 - パケット の フラッディ ング 41-2
 - プロトコル、未サポート 41-4
 - 保護 ポート 41-5
 - 未サポート プロトコル 41-4
 - 不正 アクセス の 防止 8-2
 - 物理 ポート 10-3

- 不適合マークダウン 1-9
- プライオリティ
 - CoS の信頼 15-7
 - CoS の変更 15-7
 - HSRP 38-7
- プライベート VLAN
 - IP アドレス 14-4
 - SDM テンプレート 14-5
 - SVI 14-6
 - エンドステーションアクセス 14-3
 - コミュニティ VLAN 14-2, 14-3
 - コミュニティ ポート 14-3
 - 混合ポート 14-3
 - サブドメイン 14-2
 - セカンダリ VLAN 14-2
 - 設定 14-11
 - 設定作業 14-7
 - 設定時の注意事項 14-8, 14-9
 - デフォルト設定 14-7
 - 独立 VLAN 14-2, 14-3
 - 独立ポート 14-3
 - トラフィック 14-5
 - 複数のスイッチにまたがる 14-4
 - プライマリ VLAN 14-2, 14-3
 - ポート
 - コミュニティ 14-3
 - 混合 14-3
 - 混合ポートの設定 14-13
 - 設定時の注意事項 14-9
 - 説明 12-4
 - 独立 14-3
 - ホスト ポートの設定 14-12
 - マッピング 14-14
 - モニタ 14-16
 - 利点 14-2
- プライベート VLAN エッジ ポート
 - 保護ポートを参照
- プライマリ VLAN 14-2, 14-3
- プライマリ リンク 20-2
- フラッシュ デバイス、数 B-2
- フラッドイング トラフィック、ブロッキング 24-7
- プリアンプト
 - デフォルト設定 20-5
- プリアンプト遅延
 - デフォルト設定 20-5
- ブリッジグループ
 - フォールバック ブリッジングを参照
- ブリッジド パケット、ACL 上 31-43
- プルーニング適格リスト
 - VLAN 13-16
 - VTP プルーニング 13-5
 - 変更 12-27
- プルーニング、VTP
 - イネーブル化
 - VTP ドメイン 13-15
 - ポート上 12-27
 - 概要 13-5
 - ディセーブル化
 - VTP ドメイン 13-16
 - ポート上 12-27
 - 例 13-6
- プレフィクス リスト、BGP 34-58
- フロー制御
 - 設定 10-20
 - 説明 10-19
- フローチャート
 - QoS 出力のキューイングおよびスケジューリング 32-17
 - QoS 入力 of キューイングおよびスケジューリング 32-15
 - QoS のポリシーおよびマーキング 32-10
 - QoS 分類 32-6
- ブロードキャスト ストーム 24-2, 34-14
- ブロードキャスト ストーム制御コマンド 24-4
- ブロードキャスト パケット
 - 指定 34-14
 - フラッドイング 34-14
- ブロードキャスト フラッドイング 34-17
- フローベースの パケット分類 1-9
- プロキシ ARP
 - IP ルーティングがディセーブルの場合 34-12
 - 設定 34-11
 - 定義 34-9
- ブロッキング パケット 24-7
- プロトコル依存モジュール、EIGRP 34-38
- へ
- ヘルプ、コマンドライン 2-4
- 編集機能
 - イネーブル化およびディセーブル化 2-9

- 画面幅よりも長いコマンドライン 2-11
 - 使用するキーストローク 2-9
- ほ**
- ポート
- IEEE 802.1Q トンネル 12-5
 - VLAN への割り当て 12-13
 - アクセス 10-3
 - スイッチ 10-3
 - スタティック アクセス 12-4, 12-13
 - セキュア 24-9
 - ダイナミックアクセス 12-4
 - トランク 12-4, 12-20
 - ブロッキング 24-7
 - 保護 24-6
 - ルーテッド 10-5
- ポート ACL
- タイプ 31-3
 - 定義 31-2
- ポート セキュリティ
- QoS 信頼境界機能 32-39
 - 違反 24-10
 - エージング 24-18
 - スティッキー ラーニング 24-10
 - 設定 24-13
 - 説明 24-9
 - 他の機能 24-11
 - デフォルト設定 24-11
 - トランク ポート 24-14
 - 表示 24-20
- ポート チャンネル
- EtherChannel を参照
- ポート プライオリティ
- MSTP 18-21
 - STP 17-18
- ポート ブロッキング 1-4, 24-7
- ポート メンバーシップ モード、VLAN 12-3
- ポート シャットダウン 応答、VMPS 12-33
- ポート 集約 プロトコル
- EtherChannel を参照
- ポート 信頼 状態
- IP Phone 用ポート セキュリティの確保 32-39
 - QoS ドメイン間 32-42
 - QoS ドメイン内 32-36
 - サポート 1-9
- 分類 オプション 32-5
- ポート ベース 認証
- EAPOL-Start フレーム 9-5
 - EAP-Request/Identity フレーム 9-5
 - EAP-Response/Identity フレーム 9-5
 - MAC 認証 バイパス
 - 設定 9-37
 - 説明 9-17
 - 注意事項 9-22
 - VLAN への割り当て
 - AAA 許可 9-22
 - 設定作業 9-10
 - 説明 9-10
 - 特性 9-10
 - Wake-on-LAN、説明 9-16
 - アカウント インギング 9-8
 - アクセス 不能 認証 バイパス
 - 設定 9-34
 - 説明 9-14
 - 注意事項 9-22
 - 音声 VLAN
 - PVID 9-15
 - VVID 9-15
 - 説明 9-15
 - 開始 および メッセージ 交換 9-5
 - カプセル化 9-3
 - 旧版のリリースからのアップグレード 9-22, 32-26
 - クライアント、定義 9-3
 - ゲスト VLAN
 - 設定時の注意事項 9-12, 9-13
 - 説明 9-12
 - スイッチ
 - RADIUS クライアント 9-3
 - プロキシとして 9-3
- 設定
- IEEE 802.1x 認証 9-22
 - RADIUS サーバ 9-25
 - アクセス 不能 認証 バイパス 9-34
 - クライアントの手動での再認証 9-27
 - ゲスト VLAN 9-31
 - スイッチからクライアントへのフレーム再送信回数 9-29
 - スイッチからクライアントへのフレーム再送信時間 9-28
 - スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ 9-24

- 制限付き VLAN 9-32
 - 待機時間 9-27
 - 定期的な再認証 9-26
 - ホストモード 9-26
 - 設定時の注意事項 9-20
 - 説明 9-2
 - デバイスの役割 9-2
 - デフォルト設定 9-19
 - デフォルト値へのリセット 9-39
 - 統計情報の表示 9-40
 - 認証サーバ
 - RADIUS サーバ 9-3
 - 定義 9-3
 - マルチホストモード、説明 9-8
 - 方式リスト 9-22
 - ポート
 - 音声 VLAN 9-15
 - 許可および無許可 9-7
 - 許可ステートおよび dot1x port-control コマンド 9-7
 - クリティカル 9-14
 - ポートセキュリティ
 - 音声 VLAN 9-16
 - 説明 9-15
 - 相互作用 9-15
 - マルチホストモード 9-8
 - ホストモード 9-8
 - マジックパケット 9-16
 - ユーザ単位 ACL
 - AAA 許可 9-22
 - RADIUS サーバアトリビュート 9-11
 - 設定作業 9-11
 - 説明 9-11
 - 保護ポート 1-7, 24-6
 - ホストポート
 - 種類 14-3
 - 設定 14-12
 - ホスト名
 - クラスタ 5-14
 - ホスト、ダイナミックポート上の制限 12-38
 - ポリサー
 - 数 32-34
 - 設定
 - 一致する各トラフィッククラス 32-49
 - 複数のトラフィッククラス 32-60
 - 説明 32-4
 - タイプ 32-9
 - 表示 32-82
 - ポリシーマップ、QoS
 - SVI の階層
 - 設定 32-53
 - 設定時の注意事項 32-34
 - 説明 32-11
 - 階層型 32-8
 - 説明 32-7
 - 特性 32-49
 - 表示 32-82
 - 物理ポートの非階層型
 - 設定 32-49
 - 設定時の注意事項 32-34
 - 説明 32-9
 - ポリシーベースルーティング
 - PBR を参照
 - ポリシング
 - 階層型
 - 階層型のポリシーマップを参照
 - 説明 32-4
 - トークンバケットアルゴリズム 32-9
- ま
- マーキング
 - 集約ポリサーのアクション 32-60
 - 説明 32-4, 32-8
 - ポリシーマップのアクション 32-49
 - マクロ
 - SmartPort マクロを参照
 - マジックパケット 9-16
 - マッピングテーブル、QoS
 - 設定
 - CoS/DSCP 32-63
 - DSCP 32-63
 - DSCP/CoS 32-66
 - DSCP/DSCP 変換 32-67
 - IP precedence/DSCP 32-64
 - ポリシング済み DSCP 32-65
 - 説明 32-12
 - マニュアル
 - 対象読者 xli
 - 目的 xli
 - マルチ VRF CE
 - サポート 1-10

- 設定 34-69
 - 設定時の注意事項 34-69
 - 設定例 34-73
 - 定義 34-67
 - デフォルト設定 34-69
 - ネットワーク コンポーネント 34-69
 - パケット転送処理 34-69
 - 表示 34-77
 - モニタ 34-77
 - マルチキャスト TV アプリケーション 23-19
 - マルチキャスト VLAN 23-19
 - マルチキャスト VLAN レジストレーション
 - MVR を参照
 - マルチキャスト グループ
 - 加入 23-3
 - 静的加入 23-10, 36-8
 - 即時脱退 23-6
 - 脱退 23-5
 - マルチキャスト ストーム 24-2
 - マルチキャスト ストーム制御コマンド 24-4
 - マルチキャスト パケット
 - ACL 上 31-44
 - ブロッキング 24-7
 - マルチキャスト ルータ インターフェイス、モニタ 23-17, 36-13
 - マルチキャスト ルータ ポート、追加 23-9, 36-9
- み**
- ミラーリング、トラフィック解析 27-2
- む**
- 無許可ポート、IEEE 802.1x 9-7
 - 矛盾、設定 42-14
- め**
- メッセージ
 - バナーを使用してユーザに送信 6-19
 - メトリック変換、ルーティング プロトコル間 34-85
 - メトリック、BGP 内 34-54
 - メトロ タグ 16-3
 - メンバー スイッチ
 - 管理 5-16
 - 候補スイッチ、クラスタ、スイッチ、クラスタ スタ
ンバイ グループ、およびコマンド スイッチ
も参照
 - 自動検出 5-5
 - 接続の回復 42-14
 - 定義 5-2
 - パスワード 5-13
 - 要件 5-3
 - メンバーシップ モード、VLAN ポート 12-4
- も**
- モジュール番号 10-11
 - モニタ
 - BGP 34-66
 - CDP 25-6
 - CEF 34-79
 - EIGRP 34-44
 - Flex Link 20-10
 - HSRP 38-13
 - IEEE 802.1Q トンネリング 16-21
 - IGMP
 - スヌーピング 23-17, 36-13
 - フィルタ 23-32
 - IP
 - アドレス テーブル 34-19
 - マルチキャスト ルーティング 39-55
 - ルート 34-93
 - IPv4 ACL の設定 31-45
 - IPv6 35-23
 - IPv6 ACL 設定 37-9
 - MAC アドレス テーブル移動更新 20-10
 - MSDP ピア 40-20
 - MVR 23-26
 - OSPF 34-35
 - RP マッピング情報 39-24
 - SA メッセージ 40-20
 - SFP ステータス 10-30, 42-17
 - VLAN 12-19
 - フィルタ 31-45
 - マップ 31-45
 - VMPS 12-38
 - VTP 13-18
 - アクセス グループ 31-45
 - インターフェイス 10-30
 - 機能 1-11

スイッチ間を流れるトラフィック 28-2
 速度およびデュプレックス モード 10-19
 単一方向リンクのケーブル 26-2
 トラフィックの抑制 24-20
 トンネリング 16-21
 フォールバック ブリッジング 41-11
 プライベート VLAN 14-16
 プローブによるネットワーク トラフィック 解析
 27-2
 ポート
 ブロック 24-20
 保護 24-20
 マルチ VRF CE 34-77
 マルチキャスト ルータ インターフェイス
 23-17, 36-13
 レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-21

ゆ

ユーザ EXEC モード 2-2
 ユーザ名ベースの認証 8-8
 ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング 1-5
 CPU パケット 6-26
 スタティック アドレスの追加 6-27
 設定時の注意事項 6-26
 説明 6-26
 ブロードキャスト MAC アドレス 6-26
 マルチキャスト アドレス 6-26
 ルータ MAC アドレス 6-26
 ユニキャスト ストーム 24-2
 ユニキャスト ストーム制御コマンド 24-4
 ユニキャスト トラフィック、ブロック 24-7

よ

要件

Network Assistant xliii
 クラスタ xliii
 デバイス マネージャ xliii

ら

ライン コンフィギュレーション モード 2-3

り

リセット、BGP 内 34-52
 リモート SPAN 27-3
 RSPAN を参照
 リロードのスケジュール 3-17
 リロード、ソフトウェア 3-17
 リンク冗長性
 Flex Link を参照
 リンクステート プロトコル 34-3
 リンクステート追跡
 設定 33-24
 説明 33-22
 リンクに対してローカルなユニキャスト アドレス
 35-4
 リンクの失敗
 単一方向の検出 18-8
 リンク、単一方向 26-2
 隣接テーブル、CEF 34-78

る

ルータ ACL
 タイプ 31-5
 定義 31-2
 ルータ ID、OSPF 34-35
 ルーティング
 情報の再配信 34-82
 スタティック 34-3
 ダイナミック 34-3
 デフォルト 34-2
 ルーティング ドメイン連合、BGP 34-63
 ルーティング プロトコルの管理距離 34-81
 ルーティングできないプロトコルの転送 41-1
 ルーテッドパケット、ACL 上 31-43
 ルーテッドポート
 IP アドレス 10-26, 34-4
 スイッチ クラスタ 5-9
 設定 34-4
 定義 10-5
 ルート ガード
 イネーブル化 19-16
 サポート 1-7
 説明 19-8
 ルート サマライズ、OSPF 34-33

- ルートスイッチ
 - MSTP 18-19
 - STP 17-15
 - ルートターゲット、VPN 34-69
 - ルートダンピング化、BGP 34-65
 - ルートマップ
 - BGP 34-55
 - ポリシーベースルーティング 34-86
 - ルートリフレクタ、BGP 34-64
 - ルート計算タイマー、OSPF 34-33
 - ルート選択、BGP 34-53
 - ループガード
 - イネーブル化 19-17
 - サポート 1-7
 - 説明 19-9
- れ**
- 例
- ネットワークの構成 1-15
 - 表記法 xlii
- レイヤ 2 traceroute
- 1 ポートに複数のデバイス 42-21
 - ARP 42-20
 - CDP 42-20
 - IP アドレスおよびサブネット 42-20
 - MAC アドレスと VLAN 42-20
 - 使用時の注意事項 42-20
 - 説明 42-20
 - ブロードキャストトラフィック 42-20
 - マルチキャストトラフィック 42-20
 - ユニキャストトラフィック 42-20
- レイヤ 3 インターフェイス
- IP アドレスの割り当て 34-6
 - IPv4 および IPv6 アドレスの割り当て 35-13
 - IPv6 アドレスの割り当て 35-11
 - タイプ 34-4
 - レイヤ 2 モードからの変更 34-6
- レイヤ 2 インターフェイス、デフォルト設定 10-16
- レイヤ 2 フレーム、CoS での分類 32-2
- レイヤ 2 プロトコルトンネリング
- EtherChannel 用の設定 16-16
 - 設定 16-12
 - 注意事項 16-13
 - 定義 16-9
 - デフォルト設定 16-13
- レイヤ 2 プロトコルパケットのシャットダウン スレッシュホールド 16-13
- レイヤ 2 プロトコルパケットの廃棄スレッシュホールド 16-13
- レイヤ 3 機能 1-10
- レイヤ 3 パケット、分類方法 32-2
- レポートの抑制、IGMP
- 説明 23-6
 - ディセーブル化 23-16, 36-12

ろ

- ローカル SPAN 27-2
- ロードバランシング 38-4
- ログメッセージ
 - システムメッセージロギングを参照
- ログメッセージのシーケンス番号 29-9
- ログメッセージのタイムスタンプ 29-8
- ログメッセージ、ACL 31-9
- ログインバナー 6-19
- ログイン認証
 - RADIUS 8-25
 - TACACS+ 8-16